ちばの緑

令和６年１月１日　　第 82 号　　一般社団法人 千葉県造園緑化協会

大規模改修された千葉公園

－ 目　　次 －

年頭のごあいさつ（千葉県知事）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
新年のごあいさつ（協会会長）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
令和５年度千葉県公園緑地行政の動向について・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）について・・・・・・・・・Ｐ７
門松づくり講習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ９
千葉県魅力ある建設業推進協議会（CCIちば）
　市川市立塩浜学園出張授業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ10
　栄町立安食台小学校出張授業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ11
高等学校への出前造園実習
　茂原樟陽高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ12
　我孫子高等技術専門学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ13
千葉県造園協会の森（横芝光）
　法人の森（横芝光）の最終報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ14
千葉県関係部局との意見交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ15
千葉県造園技能検定推進委員会設立50周年記念祝賀会・・・・・・・・・・Ｐ20
関東甲信造園建設業協会協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ21
第61回技能五輪全国大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ22
全国造園フェスティバル「花と緑で美しい日本を！」・・・・・・・・・・Ｐ23
街路樹剪定士
　～「切るも剪定、切らぬも剪定」～・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ24
植栽基盤診断士
　～植栽基盤のスペシャリストとして、技術提案を～・・・・・・・・・Ｐ25
伐木等業務（チェーンソー）特別教育・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ26
フルハーネス特別教育講習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ26
緑地樹木剪定士
　～次世代に良好な緑環境を～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ27
2023年度　日本造園学会全国大会報告・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ28
第40回 全国都市緑化仙台フェア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ30
「ひろげよう　育てよう　みどりの都市」全国大会・・・・・・・・・・Ｐ32
樹木紹介㊵「ヤツデ（テングノウチワ）ウコギ科」・・・・・・・・・・Ｐ33
委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ34
お知らせコーナー（表彰）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ36
千葉県立我孫子高等技術専門校
　令和６年度訓練生募集のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ38
会員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ39
千葉県の巨樹・古木紹介シリーズ㉗・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ43

年頭のごあいさつ

千葉県知事　熊谷　俊人

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年９月の台風第13号で被害に遭われた県民や事業者の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧に向けて全庁を挙げて取り組むとともに、貴協会と「災害応急対策に関する業務協定」を締結しているとおり、災害に強い千葉県づくりを着実に進めます。

貴協会の会員の皆様には、日頃より、造園緑化に関する知識の普及啓発、造園技術の向上等に取り組まれるとともに、県道の緑化活動などの社会貢献活動を積極的に推進されるなど、本県の美しい景観の保全・形成や、みどり豊かで快適な県土づくりに向けて御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。また、正月を迎えるにあたり、県庁等に立派な門松を飾っていただき、感謝申し上げます。

県内経済の回復を確かなものとし、賃上げと消費拡大、企業の成長などの好循環を実現するため、中小企業のＤＸ等による生産性向上や、リスキリング等による人材の確保・育成を支援します。

また、海外からの観光客も回復する中、誘客促進とともにワーケーションなど新たな旅のスタイルの促進などにも取り組みます。

農林水産業については、生産性向上や、さつまいも・梨など本県の顔となる品目の重点的なプロモーションなどにより、更なる発展に努めます。

成田空港は、第３滑走路新設など「第２の開港」ともいえる機能強化を予定しています。昨年は空港周辺での土地利用規制の弾力化を実現したところです。

県として物流をはじめ国際的な産業拠点の形成を図るなど地域づくりを推進します。

本県活性化の基盤となる道路ネットワーク整備についても、引き続き積極的に取り組みます。

東京湾アクアラインでの時間帯別料金の社会実験では、２か月間で渋滞による時間のロスが土曜日では44％減少したことが確認されました。今後、利用者の行動変化等の分析・評価を進めます。

持続可能で活力ある社会の実現を目指し、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた動きを、新しい時代に適した経済成長につなげるよう取り組んでまいります。

千葉の多様な魅力を発信するため、本県の三方を囲む海をテーマに豊かな食文化や伝統文化などをアピールしていきます。

本年11月には、「ちばアクアラインマラソン2024」を開催しますので、ぜひ、海の上を走る爽快感を体感してください。

県誕生150周年を機に、昨年から各地で多彩な記念事業を展開しています。改めて県が市町村や企業等とともに地域づくりに取り組んでいく節目としたいと考えています。

本年は、次の100年に向け新たな一歩を踏み出す一年です。県民の皆様と力を合わせて未来の千葉県づくりに取り組んでまいります。

結びに、一般社団法人千葉県造園緑化協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げまして、年頭の挨拶といたします。

新年のごあいさつ

(一社)千葉県造園緑化協会
会　長　伊藤　高広

令和６年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より会員の皆様、国、県、市町村、関係団体の皆様には協会の事業活動に対し格別のご支援、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、（一社）千葉県造園緑化協会は、これまで様々な活動を通じ県民のみどり豊かで安心できる生活環境を創造し社会に貢献しようと、会員一丸となり取り組んでまいりました。

県の課題となっています広葉樹による海岸林再生技術の確立を図るため、長生郡白子町で８年間クロマツと広葉樹の混交林の植栽・育成に取り組み、広葉樹の多くが枯死するなどの経験を活かし、植栽基盤の保水性を高める客土や夏の高温乾燥防止や雑草抑制等としての緑肥植物などを取り入れ、平成28年から県と連携し山武郡横芝光町において「千葉県造園協会の森」として、タブノキ・シャリンバイなど広葉樹９種類614本を植樹、そして育成管理、生育調査を令和５年３月末に終了し、県に海岸林再生に適している植栽樹種の選定などを取りまとめた広葉樹生育調査報告書を提出しました。

昨年９月、台風13号接近に伴い県内で線状降水帯が発生し記録的な大雨により「県立長生の森公園」の法面崩壊と倒木が発生し、県から災害協定に基づき2011年東日本大震災以来となる災害応急業務協力要請により、災害応急復旧工事を実施しました。

また、伝統文化に触れていただくため一般市民向け「ミニ門松講習会」、協会員制作の本格的門松を県庁、県立こども病院など３箇所に寄贈、造園関係の高校、専門校への校外授業や出前授業、造園技能検定実技試験の検定委員としての協力など様々な活動を展開してまいりました。

協会活動のもう一つの柱である会員企業の経営の安定化や人材育成の確保を図る共益活動も重要です。会員企業は、ダンピング受注や造園工事の減少に苦慮し、厳しい経営環境を強いられているのが現実です。

県の緑地管理・道路清掃委託業務において、同時発注・同一業者による複数落札案件が多く見受けられることから、業務の品質確保と受注機会の増大を図るため、同一事業者による重複参加を制限する措置が必要です。

また、経営の安定化と造園技術技能の低下防止・継承をするためには、造園工事が減少する中にあって、県の公園工事が国の指針では造園工事で発注されるべきところ、今年度県の発注見通しでは７割が土木一式工事など他工種で入札に参加できない状況のため、県立公園のある７つの土木事務所に対し、造園工事拡大の要望活動を行ないました。その結果、他工種から造園工事に切り替えて発注する案件が見られるようになりましたが、一層の改善が望まれるところです。

さらに、技術技能を発揮し磨くことができる造園工事現場の確保が必要であり、造園建設予算の拡大が不可欠です。

緑は街の歴史や文化を表現する大切な社会資本です。これからも社会資本整備への期待に応えていかなければならないと決意しています。皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして明るく希望に満ちた飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

令和５年度 千葉県公園緑地行政の動向について

千葉県県土整備部
都市整備局
公園緑地課長
藪谷　直幸

1　はじめに

一般社団法人千葉県造園緑化協会の皆様には、日頃、本県の公園緑地・景観行政に御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さらに貴協会におかれましては、災害時には「地震・風水害・その他の災害応急対策に関する業務協定」に基づき、県立都市公園の早期復旧等に御協力いただいているとともに、景観法に基づく指定による「景観整備機構」として、本県の景観の保全・整備に御尽力いただきまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、都市公園を始めとする都市の緑は、都市を豊かなものにし、人々の生活に潤いや安らぎを提供するものであり、私達のくらしにとってかけがえのない財産の一つとなっております。

都市公園の整備は進んできましたが、その一方で、施設の老朽化や、都市公園の更なる活用の必要性が指摘されています。これらを背景とし、人口減少や地方公共団体の財政的制約等の社会情勢の変化を踏まえ、平成29年に都市公園法が改正され、新たな官民連携手法である公募設置管理制度が創設されました。この下で、今後は都市公園の活性化や再編、民間のノウハウや投資を積極的に引き出す民間等との連携強化、都市公園の一層柔軟な管理運用などが、今日における都市公園の新たな課題となっております。

また、都市の緑を含めた、より幅広い観点から街の景観づくりを捉え、市町村、 景観づくり地域活動団体、景観整備機構（千葉県造園緑化協会など）及びＮＰＯなど、多くの団体やその関係者との協力のもと、良好な景観づくりに向けた協働の環を広げていけるよう取り組んでおります。

以下では、県立都市公園の整備・管理や都市の緑の創出、景観形成などに関する県の取り組みを御紹介いたします。

2　県立都市公園の整備と管理について

現在、県では、長生の森公園、八千代広域公園及び市野谷の森公園の３箇所の県立都市公園の整備を行っております。

長生の森公園においては、北側エリアで整備を進めていた多目的広場や管理棟が完成し、その周辺施設についても現在整備を進めているところです。

八千代広域公園においては、村上側がすでに供用を開始しており、残る萱田側についても、早期完成に向け、造成工事等を進めております。

市野谷の森公園の２期区域は、貴重な動植物のための樹林地の保全や自然とのふれあいの創設などを目指し、計画的に事業を推進してまいります。

次に、柏の葉公園では、都市公園法に基づく「公募設置管理制度」、いわゆるPark-PFIを活用し、園内の緑や水辺を生かした、民間活力による飲食施設等の設置を令和６年夏のオープンを目指し、進めております。

このほか、富津公園と蓮沼海浜公園では、海の魅力を生かした再整備に向け、令和５年３月に策定した公園の将来像や方向性を示した基本方針を踏まえ、再整備計画の検討を進めているところです。

また、現在、11公園において指定管理者制度を導入しており、指定管理者に対する年度ごとの履行状況確認の他、指定管理期間の中間年には第三者による管理運営状況の評価を行い、結果を公表しております。今後も、県民ニーズに即したサービス向上や効果的な管理運営に努めてまいります。

このように、県立都市公園がより一層安全で魅力あふれる場として、より多くの皆様に利用していただけるよう、公園の質の向上や公園利用者の利便性の向上に鋭意取り組んでいきたいと考えております。

長生の森公園（管理棟建築工事）

館山運動公園（テニスコート改修工）

3　都市の緑の創出に向けて

都市における緑を創出していくためには、都市公園などの整備により公的空間において緑を確保していくほか、建築物の敷地内空地や屋上・壁面など、民有地も含めて緑化を推進していく必要があります。

県では地域におけるまちづくりの中心的な役割を担う市町村と連携しながら、 広く県民の皆様に緑について関心を持っていただき、都市の緑の重要性について　より一層理解を深めていただくことを目指して、緑化に関する普及啓発活動を実施しております。

その一環として今年度は緑に対する意識や関心を高めることを目的とする「苔テラリウム体験イベント」を予定しています。

また、令和５年は千葉県誕生、都市公園制度制定150周年という節目の年であり、「千葉県誕生・都市公園150周年記念　県立都市公園スタンプラリー」と銘打って多くの方々に県立都市公園に親しんでいただく機会を設けました。

チーバくん

引続き、県民の皆様にとって身近で取り組みやすい都市緑化の普及に努めていくと共に、さらなる普及啓発活動に係る新たな事業を模索していきたいと考えております。

また、国では地域におけるグリーンインフラの取組を支援するため、グリーンインフラの推進方策として「グリーンインフラ活用型都市構築支援事業」を令和２年度より実施しております。

これは市町村の策定した「緑の基本計画」等に整合し、公園緑地が有する多様な機能を引き出し、複数の地域課題の解決を官民連携による都市公園の整備や、民間建築物・公共公益施設の緑化、市民農園の整備などを複合的に行うことで、都市の緑の創出並びに緑の保全に寄与する事業となります。

本県としても、市町村が円滑に事業を実施できるよう、助言などのサポートをしてまいります。

今後もさらに、都市公園などの整備により、公的空間において緑を確保していくほか、民有地も含めた緑化の推進や都市の緑の創出のための方策を、検討してまいります。

4　良好な景観形成の推進について

良好な景観は、県民共有の財産であり、良好な景観形成を推進することによって、「住みよいまち」「住み続けたいまち」が実現されるほか、地域への誇りや愛着も生まれ、地域コミュニティの形成、地域の活性化や観光振興への寄与も期待できます。

千葉県では、平成20年４月に施行した「千葉県良好な景観の形成の推進に関する条例」に基づき、平成21年３月に「千葉県良好な景観の形成に関する基本方針」及び「千葉県公共事業景観形成指針」を策定し、良好な景観づくりを総合的に推進しております。

良好な景観形成は、住民の主体的な参画があって、初めて実現できるものです。県では、県内各地での「景観セミナー」の開催、また、条例に基づく「認定景観づくり地域活動団体」への支援など、景観づくりへの県民参加の促進について積極的に取り組んでおります。

また、景観づくりには、市町村の役割が重要であることから、市町村が景観法に基づく景観行政団体となって、地域住民との協働により、良好な景観を保全し、つくり出していけるよう、必要な支援、連携に努めております。令和５年４月１日現在では、39市町村が景観行政団体として、地域の景観づくりに取り組んでいるところです。

景観は道路や公園、建築物など公共や民間の様々な要素で構成されているため、良好な景観づくりにはそれぞれの分野の専門的な知見が必要となります。そうした意味で、景観法に基づく「景観整備機構」に指定させていただいている貴協会の皆様には、今後とも、専門知識を生かした活動を通じて、本県の良好な景観づくりに御協力をお願いするとともに、社会的要請に的確に応えながら公園緑地行政を円滑に進めていくためにも、御理解と御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

景観セミナー

景観まちづくり市町村連絡会議

2027年国際園芸博覧会（GREEN × EXPO 2027）について

公益社団法人国際園芸博覧会協会　広報部

1　はじめに

2027年３月から神奈川県横浜市で、花・緑・農・食の国際園芸博覧会を開催します。Ａ１クラスの博覧会は、日本では1990年「大阪花の万博」以来、37年ぶりの開催であり、首都圏で開催される初めての万博です。

2　国際園芸博覧会とは

国際園芸博覧会は、国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造等を目的に、世界各国で開催されてきた博覧会です。

開催にあたっては、国際的レベルで園芸生産者の利益を図り、園芸技術の向上を図るために設立された非営利団体である国際園芸家協会（以下、AIPH）の承認が必要です。

国際園芸博覧会には開催期間や会場の面積等によりＡ１、Ｂ、Ｃ、Ｄの４つのカテゴリーが設けられ、最上位であるＡ１クラスの開催に当たっては、AIPHの承認に加え、「国際博覧会に関する条約」に基づき設置されている博覧会国際事務局（以下、BIE）の認定が必要です。

そのため本博覧会は、日本においては、2005年の愛知万博や2025年開催予定の大阪・関西万博に続いて開催される国内７回目のEXPO（万博）となります。

なお、前述のとおり、日本で開催されるＡ１クラスの国際園芸博覧会としては、1990年に大阪の鶴見緑地で開催された国際花と緑の博覧会（大阪花の万博）以来、37年ぶり２度目の開催となります。大阪花の万博はアジア初のＡ１クラスの国際園芸博覧会であり、約半年間の会期で2,300万人以上の参加者数を記録しました。これを契機にいわゆる“ガーデニングブーム”が起き、花壇苗の出荷量が増加するなど産業振興に大きな効果をもたらしました。

3　開催テーマ「幸せを創る明日の風景」

本博覧会は、地球温暖化等、世界規模の環境変動を踏まえ、自然が有する機能を活用し、花や緑との関わりを通じて自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会を、新たな明日の風景として可視化していくことを目指しています。

SDGs達成年の３年前に開催される国際園芸博覧会として、持続可能な社会の形成に向けた取組の成果を確認し、「新しいグリーン万博」の姿を世界と共有することで、SDGs達成をより確実なものとする機会にしたいと考えています。

4　今後について

博覧会協会は、2023年１月に、博覧会開催に必要な事業及びその方針を示した「2027年国際園芸博覧会基本計画」を策定・公表しました。この基本計画に基づき、各事業を推進するとともに、各国政府に対する参加招請や出展者・支援者・来場者に向けた機運醸成等の取り組みなど、2027年の開催に向けた準備を進めています。

また、本年９月には、公式アンバサダーが就任するなど、徐々に一般への訴求力の高い情報が発信できる段階となっています。これらの情報は、公式ウェブサイトや公式SNSで随時発信していきますのでぜひご活用ください。

2027年国際園芸博覧会の概要

■名　　称：2027年国際園芸博覧会
　　International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan
■会　　場：旧上瀬谷通信施設（神奈川県横浜市）
■開 催 期 間：2027年３月19日（金曜日）～ 2027年９月26日（日曜日）
■博覧会区域：約100ha（内、会場区域80ha）
■参 加 者 数：1,500万人（地域連携やICT活用などの多様な参加形態を含む）
　　有料来場者数：1,000万人以上
■資 金 計 画：会場建設費320億円（財源：国、地方公共団体、民間による負担）
　　運営費360億円（財源：入場料、営業権利金等）

公式ウェブサイトQRコード

会場イメージ図（2023年９月時点）

門松づくり講習会

～伝統芸能の継承～

門松づくり講習会

今日の日本では伝統工芸産業の需要の減少や後継者不足など、伝統文化の衰退が大きな問題になっています。

伝統文化は私たちのルーツ、そしてアイデンティティを知る際に大きな手がかりになります。どのような歴史を経て、どのような精神文化をもち、現在の自分達の生活や人生にどのように関わってきたのかを知ることは、豊かな人生を送るのに大切ではないでしょうか。

千葉県造園緑化協会では、多くの方々に伝統技能に触れる機会を提供したいと考え、一般市民の方々を対象に「ミニ門松づくり講習会」そして会員企業対象に「門松づくり講習会」を毎年開催しています。会員企業が作った門松は、千葉県庁をはじめ千葉県文化会館、千葉県こども病院、千葉リハビリテーションセンターに寄贈させていただいています。会員企業の中でも門

千葉県庁庁舎

ミニ門松づくり講習会

松制作は初めてという方が何人も参加し指導員と一緒に制作に取り組みました。かくいう、わたくしも門松制作を始めたのは数年前にこの講習会にかかわってからでした。

「ミニ門松づくり講習会」で作成するミニ門松は本格的なもので本物の藁を使って編み込みもします。実物の門松と作成方法もほとんど変わりません。出来栄え、作りごたえも十分です。老若男女14名の参加者の方々は講習時間３時間、講師の指導、手ほどきを受けながら、黙々と作業に取り組んでいらっしゃいました。それぞれ満足した様子で自分で作った門松を抱えて帰っていく姿を見た際には、主催者である私たちも達成感を感じ「今年も開催してよかった」と改めて思うことができ、伝統芸能文化を広めることに少しでも貢献できたことを嬉しく思います。

門松は一年の幸福をもたらしてくれる神様が家に来るための目印となる正月飾りです。門松が皆様の新しい一年に幸福をもたらしてくれること願っております。

（技術委員　大久保裕昭）

千葉県こども病院

千葉県魅力ある建設業推進協議会（CCIちば）

小学校出張授業

市川市立塩浜学園

千葉県魅力ある建設事業推進協議会（CCIちば）は、10月６日（金）市川市立塩浜学園４年生を対象に、建設業に関する「出張授業」を開催いたしました。

今回の授業は、初の試みとなる「造園業特化型建築プログラム」として行われました。

当協会広報の湯浅浩一委員長（㈱ユアサ園芸）、松戸克浩副委員長（㈱新松戸造園）、海瀬大五郎委員（㈱サンライズグリーン）が講師として参加しました。

NPO法人企業教育研究会の市野　敬介さんが司会進行を務め、３時間目の45分間、４時間目の45分間、計90分の授業を行いました。

３時間目の授業では、市野さんが「千葉県の建設業のお仕事」をテーマに、「学校の建築現場」を題材にして、５名の人物の仕事を、場所と道具を照らし合わせてクイズ形式で楽しく伝えていきました。３時間目の最後には、造園の仕事の中の一つである、植栽基盤診断で使用する「長谷川式土壌貫入計」の実物を見せ、実際に土壌の硬度を計測する様子を見てもらいました。この「長谷川式土壌貫入計」は、子供達に限らず先生方も興味津々で、休憩時間に落錘（ランマー）を持ってその重量に驚いていました。

４時間目の授業では、まず松戸さんが、墜落防止装置と腰道具（剪定鋏・鋸）を装着して、道具の用途を説明しました。また、自社のパンフレットを用いて、造園の仕事は女性の感性が生かせる仕事であり、自社ではたくさんの女性が活躍していることを紹介し、造園の仕事とは至る所にあり私たちの生活に密接していると話しました。

次に湯浅さんが、市川市とパートナーシティであるフランスのイッシー・レ・ムリノー市に造った日本庭園「市川庭園」の話をしました。当時湯浅さんが代表理事を務めていた、市川造園建設業協同組合に、市川市から庭園を造ることを提案されて実施した経緯や、日本のような松がなく苦労した点、灯篭を日本から運んだ事、竣工式では桜の木を植樹した事を話しました。

３番目に海瀬さんが、地元市川市で昨年11月に一部オープンした公園「ぴあぱーく妙典」について話しました。コンセプトは「身障者の方とも一緒に遊べるインクルーシブな公園」であり、車いすに乗ったまま遊べる「築山遊具」や、階段でなくスロープで行ける「すべり台」は、幅が広く保護者と一緒に滑れることを紹介しました。また、「どろんこ広場」や「土管のトンネル」「人工芝で滑って遊べる山」があり、自分で遊びを考えて遊べる公園であることを話しました。

最後に、講師３名で子供たちに「造園業は、建設業の中で唯一生き物を扱う職業であり、「樹木医」という医者がいるほど幅が広い。是非興味を持っていただき、大人になって造園業に来てくれたらうれしい」と伝え、大変好評の中、授業を終えました。

（広報委員　海瀬大五郎）

市川市立塩浜学園　出張授業風景

栄町立安食台小学校

千葉県魅力ある建設事業推進協議会（CCIちば）は、10月６日（金）市川市立塩浜学園での開催に引き続き、11月29日（水）に栄町立安食台小学校の多目的教室にて６年生37名を対象に、建設業に関する「出張授業」を開催いたしました。

今回の授業も、前回同様に「造園業特化型建築プログラム」として行われました。

当協会広報委員長の湯浅浩一さん（㈱ユアサ園芸）、副委員長の松戸克浩さん（㈱新松戸造園）、委員の海瀬大五郎さん（㈱サンライズグリーン）と委員の豊田祐二さん（京成バラ園芸㈱）が講師として参加しました。

NPO法人企業教育研究会の市野　敬介さんが司会進行を務め、５時間目の40分間、６時間目の40分間、計80分の授業を行いました。

５時間目はまず市野さんが「学校の建築現場」を題材にして、登場した５名の人物の仕事内容を、画像を通して説明をしました。次に植栽基盤診断で使用する「長谷川式土壌貫入計」の実物を見せ、実際に計測する様子を見てもらいました。５時間目の最後に、道具の用途を説明する為に、墜落防止装置と腰道具を装着した松戸さんが登場し、自社のパンフレットを用いて、造園の仕事は幅広く至るところにあり、私たちの生活と密接していると話されました。休憩時間では生徒達が、松戸さんが身に着けているフルハーネスを興味津々に触っていました。

６時間目の最初には湯浅さんが、市川市とパートナーシティであるフランスのイッシー・レ・ムリノー市に造った日本庭園「市川庭園」の話を、庭園の画像を流しながら話をしました。画像を見た生徒から「おしゃれ」「綺麗」という言葉が飛んでいました。

次に海瀬さんが、市川市で令和４年11月に一部オープンした公園「ぴあぱーく妙典」の話では、公園が出来上がっていく工程をビフォーアフターの画像で分かり易く話をしました。ラフタークレーンを使って、11ｍのモミノキの植栽の話では、皆さん驚いて画像に見入っていました。

そして豊田さんが、造園の仕事は公園を作るだけでなく、公園を造る為に必用な材料を作る仕事もあるという話を「バラ」を題材にして話しました。バラが7,000万年前の白亜紀後半の恐竜が絶滅するちょっと前の遥か昔から存在していた話や、品種改良に使用された原種のうちの３種類、ノイバラ、テリハノイバラ、ハマナスは日本原産と言う話に生徒たちは驚いていました。品種の分類の話では、樹形による分類、花の色・形・香りによる分類がなされている事を持参したバラを見てもらいながら話をしました。

生徒達はバラの花束に興味を惹かれていた様子でした。

最後に湯浅さんが代表で、造園業は建設業の中で唯一生き物を扱う職業である事。私達の生活には緑が必要で、地球が元気でいる為にも必要な物である話をし、この授業を通して関心を持ってもらった人の中から、一人でも多くの人が造園の道に進んでもらえると嬉しいです、という言葉で締めくくりました。

（広報委員　豊田祐二）

栄町立安食台小学校　出張授業風景

高等学校への出前造園実習

～造園移植技術を応用したコケ玉製作～

茂原樟陽高等学校

講座の概要

令和５年10月11日に千葉県立茂原樟陽高等学校　造園コース２年生の13名に樹木移植技術を応用したコケ玉製作の出前講座を行いました。

活動報告

樹木移植技術について生徒達に理解してもらうためまず初めに移植技術のビデオを用いて説明を行いました。造園について日頃から学んでいるためか作業内容についての理解が非常に早いなと感じました。そしてビデオ内での樹木移植技術を多用しコケ玉製作に取り掛かりました。生徒たちは植物の根が傷つかぬよう丁寧に植鉢から植物を取り出し植物の根に根巻シートの代用品としてガーゼを使用し最も巻き方が容易であるミカン巻きを採用し緑化縄の代わりに木綿糸を使用したが実際のサイズよりも遥かに小さい為、糸の扱いに苦戦しながら作業を行いました。その後緑色に着色した水ゴケを貼り付け、それぞれが好きな形にコケ玉を整形し小鳥のガーデンピックで飾り付け完成させました。一般的なコケ玉のイメージとして球体にするだろうなと思い様子を見ていると生徒たちは三角や四角、楕円やヒョウタン形など13人が13通りのコケ玉を作りました。年を重ねるとアイデアが枯渇してしまうので高校生の自由な発想力には驚き刺激を受けました。造園とは工場の機械で作られるすべて同じ形をした工業製品と異なり、十人十色ということわざにもあるような10人いれば10通りの趣があるのだと思います。私はこのことわざは他人に対しても自分の考えや価値観を押し付けず、尊重しなければならないという意味も含まれていると思います。講座の最後には全員で作品の総評を行い生徒達が互いの作品の個性を認め、称賛していた姿が目に焼き付いています。これからも彼らが十人十色の精神で造園に携わっていってくれたら嬉しく思います。

（技術委員長　川西正人）

茂原樟陽高等学校　出張授業風景

～街路樹剪定～

我孫子高等技術専門学校

令和５年11月15日、幕張勤労市民プラザ多目的ホールにおいて、出張講義として千葉県立我孫子高等技術専門学校､訓練生を対象として､当協会が開催する「街路樹剪定士認定試験」の実技試験日に、生徒の学習活動の一助とするため講義・実技試験見学会を行いました。

講義は樹木剪定の目的から始まり、基本的な剪定方法、樹木の枝の位置による呼び方や、街路樹に対する制約、剪定方法の種類をはじめ、樹種による剪定の時期、及び、安全な作業手順を座学として午前中を中心に行いました。

午後は、会場周辺において実施されている「街路樹剪定士認定試験」における実技試験を見学しながら、講義で学んだ植栽地の立地条件による街路樹の管理目標樹形を算出すると共に、受験生の剪定方法、手順、樹木の仕上がり、安全管理の実施状況を見学しました。

約１時間半の見学後、講習会場において街路樹剪定の試験木講評、質疑応答をはじめ、自分が将来、様々な問題に直面した時の行動、考え方の参考になればと、実体験による現場で起きた事故、対応方法を話したところ、真剣に耳を傾けてくれました。

時間の都合で駆け足の講義となりましたが、受講者からは講義内容の質問や、実技試験時の剪定方法、仕上がりの良否の質問が積極的になされ、実のある講義と感じました。

（㈱西船グリーンサービス　飯塚 純）

我孫子高等技術専門学校　出張授業風景

千葉県造園協会の森（横芝光）

法人の森（横芝光）の最終報告

令和５年３月31日をもって、千葉県「法人の森」制度に基づく千葉県知事との協定期間が終了致しました。
クロマツ林の松くい虫被害による海岸保安林の機能喪失を防ぎ、尚且つ生物多様性の観点から、広葉樹による海岸保安林の整備を行い、その後、維持管理と生育調査に多くの方が参加して頂きました。それらも無事終了し、最後に看板をはじめ単管パイプによる防風ネット等の人工構造物を撤去し、千葉県へお返し致しました。

今回の法人の森（横芝光）の活動には、協会会員企業の皆様や技術委員やフォローアップメンバーをはじめ、千葉県農林部の関係者様、種苗会社や機械メーカーの方々など多くの方にご協力を頂きました。
改めて、今回の活動が出来ましたことを心より感謝致します。皆様ありがとうございました。

「法人の森（横芝光）」協定の概要

１．所在地：山武郡横芝光町
　　尾垂イ字大杉前3856-80
２．面　積：640㎡（20m×32m）
３．名　称：千葉県造園協会の森（横芝光）
４．協定期間（当初）：平成27年９月25日から
　　令和２年３月31日まで
　再協定期間：令和２年４月１日から
　　令和５年３月31日まで

最終報告

今回の「法人の森（横芝光）」では、生育状況を樹高と葉張を測定し、樹高×葉張で投影面積を求め、植栽当初に比べての増加率を集計しています。

緑化増加率（平均）は、植栽当初に比べて、
常緑広葉樹（高木性）
・タブノキ　350%（昨年の値　75%）
・マテバシイ　1,228%（昨年の値1,022%）
・モチノキ　11%（昨年の値　142%）
・ヤマモモ　2,669%（昨年の値2,163%）
落葉広葉樹（高木性）
・オオシマザクラ　2,305%（昨年の値1,576%）
・エノキ　873%（昨年の値　719%）
常緑広葉樹（中低木性）
・ウバメガシ　2,737%（昨年の値2,291%）
・トベラ　1,349%（昨年の値1,002%）
・シャリンバイ　1,228%（昨年の値1,192%）
※緑化増加率＝投影面積の増減値／当初投影面積×100

平成28年４月26日　第１回生育調査

令和３年４月27日　第１回生育調査

令和３年11月11日　第２回生育調査

調査対象樹木で各樹種の投影面積の大きく生長したものは、下記のとおりです。
・タブノキ　樹高　900㎜　葉張　400㎜
・マテバシイ　樹高2,300㎜　葉張1,000㎜
・モチノキ　樹高1,200㎜　葉張　200㎜
・ヤマモモ　樹高2,000㎜　葉張1,900㎜
・オオシマザクラ　樹高2,200㎜　葉張1,400㎜
・エノキ　樹高1,300㎜　葉張1,400㎜
・ウバメガシ　樹高2,300㎜　葉張2,500㎜
・トベラ　樹高1,800㎜　葉張　950㎜
・シャリンバイ　樹高1,700㎜　葉張1,200㎜

今回の植栽と生育調査を通じて、樹種の剪定の難しさや植栽基盤の大切さ。また、植栽間隔や植栽パターンの検討とその後の維持管理の効率化などの課題も浮き彫りにされました。
ぜひ、今後の実施の参考となれば幸いです。
（前技術委員長　榊原正和）

千葉県関係部局との意見交換会

県との意見交換会は、我々造園業界の声を県の関係部局（県土整備部、農林水産部、総務部、企業局）幹部の皆さんに直接届ける場として毎年開催しています。

令和５年９月７日（木）オークラ千葉ホテルにおいて、千葉県から県土整備部都市整備局長の小川剛様、次長の澤宏幸様はじめ県土整備部９名、農林水産部次長小野勉様はじめ２名、総務部２名、企業局４名の17名にご出席を頂き、協会から正副会長、理事、監事等14名が出席し開催しました。

後日、県から「海岸保安林の再生」「少子高齢化・地域防災に対応した公園再整備計画検討プロジェクト」「門松づくり講習と寄贈」などの主要事業の活動に関連する要望とともに会員から寄せられた「公園緑地・景観整備」「造園業の育成」「働き方改革の推進」「森林環境贈与税の活用」等32項目の質問・要望について回答を寄せていただきました。

【協会の主な事業と要望等】

項　目	協会の質問・要望	県からの説明の要旨
Ⅰ 海岸保安林の再生	①九十九里地区及び平砂浦地区の保安林整備の進捗状況はどのようになっていますか。 また、今年度はどのような整備を行う予定ですか。	＜森林課＞九十九里地区の保安林整備の進捗状況ですが、津波対策としての砂丘の整備を重点的に実施し、平成27年度までに約13キロメートルを完了しています。 森林整備については、ボランティア等によるものも含め、平成24年度から令和４年度までに約165ヘクタール実施し、進捗率は全体計画に対し約67パーセントとなっています。 平砂浦地区の進捗状況ですが、森林整備については、ボランティア等によるものも含め、平成24年度から令和４年度までに約32ヘクタール実施し、進捗率は約55パーセントとなっています。 今年度は、両地区とも植栽を予定しております。
	②広葉樹導入の検討状況について教えてください。 また、海岸前線部より内陸側についてはいつどのように進めていくお考えですか。 今後の見通しなどの共通認識を持つ場として海岸県有保安林再生部会等の開催をお願いします。	＜森林課＞現在は、植物の生育環境として厳しい海岸の前線部（砂丘裏法面端から100m未満程度の範囲）や、景観として松林が求められる箇所については、クロマツの植栽を進めていますが、前線部より内陸側については、マツクイムシの被害や生物多様性を考慮して、広葉樹を導入することとしています。 今後の見通しですが、九十九里地区だけでも、海岸最前線部（砂丘裏法面端から50mの範囲）の植栽必要エリアが約50ヘクタール、その後ろの50～100mの範囲においても約40ヘクタールが存在しているため前線部のクロマツの植栽を優先して進めています。 今後は広葉樹の植栽方法を確立していきたいと考えております。 部会等の開催については未定ですが、皆様からのご意見等についても随時伺わせていただければと考えております。
	③北部林業事務所防災林造成工事では、抵抗性クロマツのコンテナ苗が使用されていますが、今年度の抵抗性クロマツコンテナ苗の供給量はどの位を予定していますか。 また、令和４年度の活着率はどの位ですか。	＜森林課＞今年度の県内産抵抗性クロマツコンテナ苗の供給量は約３万２千本を見込んでおり、海岸保安林の公共事業での必要量３万１千本を県内産コンテナ苗でまかなえる見込みとなっています。 また、令和４年度の活着率は91％となっています。
Ⅱ 少子高齢化・地域防災に対応した公園再整備計画検討プロジェクト	①県が支援助言し推進している市町村が行う都市公園の再整備事業に係わる、最近３年間の事業費の推移と今後の新規地区の見通しについてお伺いいたします。	＜公園緑地課＞市町村が都市公園の再整備事業を都市公園事業として実施する場合は、社会資本整備総合交付金より、国から支援を受けることが可能です。 令和３年度から令和５年度の３年間で、同交付金により再整備を実施している市町村は、県内で２市２公園あり、令和６年度も２市２公園で予定しております。 なお、公園施設の老朽化が進む中、公園施設長寿命化計画を策定し、公園施設長寿命化対策支援事業により、公園施設の改築・更新に取り組んでいる自治体は、16市あります。 県としましても、必要に応じ、円滑な事業実施に向けて、助言等を行ってまいります。

項　目	協会の質問・要望	県からの説明の要旨
Ⅱ 少子高齢化・地域防災に対応した公園再整備計画検討プロジェクト	②老朽化した県立都市公園の再生・活性化については、具体的にどのような展開を図っていますか。 　また、公募設置管理制度（ＰａｒＫ―ＰＦＩ）による事業者が総合的に公園を整備する場合に県内業者が参加できる仕組みを作っていただきたい。	＜公園緑地課＞県では、都市公園法の改正を受け、県立都市公園の魅力や利便性の向上を目的とし、民間活力を活用した公園の整備・管理等の導入に向けた取組を進めることとしています。 　令和４年度には柏の葉公園において、園内の緑や水辺を生かした飲食施設等について事業公募を行い、大和リース株式会社千葉支店を代表企業とする、大和リースグループを事業者として決定しました。 　本年度は、事業者による整備が進められ、令和６年夏期に新たな飲食施設が　オープンできるように、事業者とともに進捗管理を進めてまいります。 　また、他の公園についても、民間活力を活用した公園の整備・管理等の導入についての検討を行っていきたいと考えております。 　ＰａｒＫ-ＰＦＩによる公園整備においては、事業者からの様々なアイディアを取り入れるためにサウンディング調査を実施しており、県内業者の皆様からも事業提案をいただくことが、参画機会を増やす第一歩ですので、宜しくお願いいたします。
	③2050年カーボンニュートラルの実現に向け、都市公園等において、どのような取り組みを考えていますか。	＜公園緑地課＞昨年度、公園緑地課が管理する県立都市公園の園路灯については、全てＬＥＤ化を完了し、電力消費量の削減に取り組んでいます。 　また、県では、2022年５月、知事を本部長とする「千葉県カーボンニュートラル推進本部」を設置し、2023年３月、「千葉県カーボンニュートラル推進方針」を策定しました。 　この方針において、都市公園等に特化した具体的な取組みはありませんが、 　①（ＣＬＴ（直交集成材）等を活用した）中高層建築物等の木造化 　②（ＥＶ）電気自動車のための充電設備の充実 　③（ＰＰＡ等を活用し）2040年までに太陽光発電設備を全公共施設に設置 などが、都市公園においても早期に取り組むことが可能と考えられることから、今後、積極的に導入してまいります。
Ⅲ 門松づくり講習と寄贈	①「ミニ門松」はＣＣＩちばの事業として取り組みますので、一般募集について県のご協力をお願いしたい。	＜建設・不動産業課＞「ミニ門松」づくりは、県民参加型のイベントとして、ＣＣＩちばの事業においても建設業の魅力向上に資する重要な取り組みの一つであり、また、参加された方々からも大変好評を得ているところです。 　講習会の一般募集につきましては、ＣＣＩちばのホームページに掲載するとともに、県のホームページでも紹介するなど、協力させていただきます。
	②昨年同様、寄贈先との仲立ちをお願いしたい。	＜建設・不動産業課＞昨年も、県庁本庁舎正面玄関ほか関係施設に門松を寄贈していただきまして、誠にありがとうございます。 　寄贈された施設では、大変喜び、感謝しておりました。 　今年度の寄贈につきましても、これまで同様、引き続き仲介させていただきます。
Ⅳ 造園技術の向上	（造園技能検定講習） ①企業局水道部の緑地管理委託業務における一般競争入札において、樹木剪定等の専門的技能のない業者が落札している案件が見受けられます。 　樹木剪定等を含む緑地管理委託業務の一般競争入札においては、剪定等を適切に施工できるように国家資格である「造園技能士」を入札参加資格要件に付加するよう特段の配慮をお願いします。	＜浄水課、管財課、建設・不動産業課＞浄・給水場における緑地管理委託については、施設内での芝地除草業務が主であり、造園技能士などの入札参加資格要件については、各所属において業務内容により必要に応じて設定します。 　ご意見については、今後検討してまいります。
	②印旛沼下水道事務所等において造園技能士を入札参加資格要件に位置づけていただき大変感謝しております。また、有資格者にとって励みにもなっています。 　専門的な技能を必要とする業務においては、造園技能士を入札参加資格要件とするように配慮していただきたい。	＜浄水課、管財課、建設・不動産業課＞専門的な技能を必要とする業務については、業務内容等に応じ、発注所属において、「造園技能士の資格者を有する者であること」などの必要と認められる入札参加資格要件を設定しております。 　今後とも、適正な業務の履行の確保や入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運用を図ってまいります。
	③造園技能士の資格についてご理解をいただくため、県担当者の皆さんにも造園技能検定試験講習会の視察をお願いしたい。	＜公園緑地課＞造園技能士は、公園・緑地に係る整備や管理を行う上で重要な資格であると認識しており、県といたしても県立公園の整備・管理や職員の技術向上の観点から、造園技能士を知ることは重要であると考えております。 　本資格への理解を深めるため、引き続き、出先機関の職員も含め、参加を呼び掛けてまいります。
	（街路樹剪定士研修会・認定試験等） ①葛南土木事務所等において街路樹剪定士を入札参加資格要件に位置づけてい　ただきありがとうございます。 　街路樹剪定業務については、良好な景観を保全するため県の全機関で街路樹剪定士を入札参加資格要件とするようにお願いしたい。 　また、街路樹の倒木等を防止する街路樹の簡易診断に街路樹剪定士の活用をお願いします。	＜管財課・道路環境課＞専門的な技能を必要とする業務については、業務内容等に応じ、発注所属において、「街路樹剪定士の資格者を有する者であること」などの必要と認められる入札参加資格要件を設定しております。 　今後とも、適正な業務の履行の確保や入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運用を図ってまいります。 　街路樹剪定士の活用については、業務内容や現地の状況に応じて、検討してまいります。
	②県担当者の皆さんにも街路樹剪定士研修会に参加していただき、街路樹剪定士制度等についてご理解願いたい。	＜道路環境課＞街路樹剪定士の制度について、県担当者へ周知してまいります。
	③街路樹の植え替えあるいは公園再整備が見込まれる中、植栽土壌のスペシャリストとして植栽基盤診断士による提案が期待されています。 　県発注工事の入札公告等に植栽基盤診断士を明記していただきたい。（国、URでは採用しています。）	＜建設・不動産業課＞一般競争入札の実施にあたっては、発注所属において工事内容に応じて必要と認められる入札参加資格要件を設定しております。 　植栽基盤診断士の活用につきましても、当該資格の普及状況などを注視しつつ、工事内容や現地の状況に応じ、検討してまいります。 　今後とも、適正な業務の履行の確保や入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運用を図ってまいります。

【会員から寄せられた意見や要望】

項　目	協会の質問・要望	県からの説明の要旨
Ⅰ 入札等について 要望１	①千葉県県土整備部における令和４年度の緑地管理・道路清掃委託業務の一般競争入札等で同時に発注している案件が123件、うち同一業者による複数落札案件47件と多数あります。 造園業者の受注機会の増大を図る観点から、先に落札者となった者が行ったその後の入札を無効とし、他の応札者から落札者を順次決定する「一抜け方式」等を早期に導入していただきたい。	＜管財課、県土整備政策課、建設・不動産業課＞一般競争入札等に当たっては、適正な業務履行や事業者の受注機会の増大を 図る観点で、分離・分割発注を推進するとともに、地域要件や同一事業者による複数案件の参加制限など、必要に応じて入札参加資格要件を設定できることと なっております。 現状、県土整備部内の出先機関においても、地域の実情等を踏まえ、同一事業者による複数案件の参加制限をかけた発注を行うなど、受注機会の確保に努めているところです。 建設工事等を除く委託業務に対する「一抜け方式」の導入については、把握する限り導入している都道府県は無く、競争性、経済性等の観点から慎重な検討が必要であると認識しています。 今後とも、適正な業務の履行の確保や入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運用を図ってまいります。
	②千葉県企業局における令和４年度の緑地管理・道路清掃委託業務の一般競争入札等で同時に発注している案件が12件、うち同一業者による複数落札案件が３件あります。 造園業者の受注機会の増大を図る観点から、先に落札者となった者が行ったその後の入札を無効とし、他の応札者から落札者を順次決定する「一抜け方式」等を早期に導入していただきたい。	＜経理課＞「一抜け方式」の導入については、知事部局等関係機関と制度運用上の整合を図りながら検討していくものと考えております。 なお、企業局においては、同時期に発注する緑地管理業務の一部について、参入機会を広く確保するための配慮として重複参加を制限する等の対応を行っていますが、応札可能者が少ないと見込まれる案件については制限をかけずに執行する場合もございます。 【再質問】 重複参加を制限する配慮はいつから実施しているか 【回答】 前年度、令和３年度において実施していることを確認しています。 （当該配慮については、企業局では令和元年度から取り組み続けております）
Ⅰ 入札等について 要望２	①2024年４月より、就労時間の上限が規制されます。我々の業種も対象となります。 業務委託等も対象となるので、設計の歩掛り及び最低制限価格の見直し等をしていただきたい。	＜管財課、技術管理課＞特定委託業務の最低制限価格制度は、ダンピング受注の防止、従事する労働者の労働環境の維持や委託業務の適正な履行の確保などを目的として、平成29年度から予定価格の100分の80としております。 最低制限価格制度については、就労時間の上限規制に伴う影響等を踏まえ、今後とも適切な運用を図ってまいります。 本県では、国土交通省の積算基準に基づいて積算をしているところです。 現在国では、時間外労働規制の適用に向けて、施工の実態調査に基づいて標準　歩掛に反映しているところです。 本県においても、国の動向を注視してまいります。
	②県の業務委託申請の希望分類で、緑地管理と道路清掃が同じ大分類になっています。 清掃と樹木の管理は別物だと思われますので、これを別々に分けられないのでしょうか。	＜管財課、県土整備政策課＞委託の入札参加資格者名簿における希望業種については、大分類として「緑地管理・道路清掃」を含め18業種に分類し、さらに、各大分類を中分類としてそれぞれ項目分けを行っております。 「緑地管理･道路清掃」の中分類に関しては、「除草･緑地管理」、「樹木管理」、「道路清掃」及び「河川・海岸清掃」等の８つに分類しているところですが、緑地管理に関する業務の発注に際しては、これらの分類を踏まえて業者選定を行っており、今後とも適切に対応してまいります。
	③業務委託も総合評価方式が、土木関係建設コンサルタント業務の方で実施されるようですが、我々が行う業務委託にも波及するのでしょうか。	＜管財課＞　建設工事関連を除く業務委託等に係る総合評価方式については、平成19年10月から導入しています。 総合評価方式の対象とする業務については、総合評価方式により総合的な業務内容の向上が見込まれる業務や、総合的なコスト削減が見込まれる業務等としており、総合評価方式の実施にあたっては、それぞれの発注部局において設置されている審査会において、対象業務の選定を行うこととなっております。
Ⅱ 公園緑地・景観整備等について	①実施中の県立都市公園整備事業（八千代広域公園、市野谷の森公園、長生の森公園、各公園の長寿命化対策事業等）の進捗状況と完了の予定について教えてください。	＜公園緑地課＞県立都市公園整備事業における整備中の公園に関し、八千代広域公園の村上側については、供用を開始しているところであり、萱田側について、引き続き用地買収を進めるとともに、買収済み箇所の造成も併せて進めてまいります。 市野谷の森公園の第１期区域については、令和３年度末に供用開始しました。第２期区域については、令和３年度末に事業認可を取得し、用地買収を進めております。 長生の森公園は、平成30年度末までに多目的広場の造成工事が完了し、多目的広場を含めた一部が供用いたしました。今年度は園路舗装工事を行っており、引き続き事業を推進してまいります。 各県立公園の長寿命化対策事業については、予防保全及び事後保全の観点から必要となる公園施設の改修を実施してまいります。
	②千葉県企業局土地管理部の本年度の緑化事業の内容と今後の見通しについて教えてください。	＜資産管理課＞今年度以降の緑化事業については、特に予定はありません。 なお、企業局土地管理部で保有している土地については、引き続き、除草･伐採等の業務委託を発注し、適正な維持管理に努めてまいります。

項　目	協会の質問・要望	県からの説明の要旨
Ⅱ 公園緑地・景観整備等について	③街路樹の維持管理において、適正な剪定がされず大きくなりすぎて通行車両や建物に当っている物や、５年に１度ほぼ伐採の様に切られた物が目立ち、街路樹としての役割を活かせず、邪魔者の様な扱いでひどい状況です。 新規や建替えにおける建築物（個人住宅･集合住宅･商業施設･公共施設等）について、植栽がほとんど無い様な建物が見受けられます。森や畑や水田等の植栽群域を無くし、その後に造られる無機質な建物は、太陽光発電があるとはいえ自然界への影響は少なくないと思います。 植栽空間があれば、利用者も使用者も季節を感じ、ストレス無く気持ちよく過ごせるのではないでしょうか？ 道路緑化において、草だらけになってしまった植樹帯ですが、出来れば緑地として有効利用が出来ればと思いますが、残念ながらコンクリートで塞がれ、雨水は地中に染み込まずそのまま排水溝に流れ、大雨の時は流れきれずに冠水を起こし、夏場は日差しを反射し熱を蓄えヒートアイランド現象の要因となります。 植樹帯におけるグリーンインフラでの活用を検討していただきたい。 また、このような状況を改善するため、千葉県として、植栽空間（庭・商業緑化・街路樹・公園等）をどの程度必要と考えていますか。	＜道路環境課、公園緑地課＞市街地における沿道の良好な生活環境を確保するため、道路構造令に基づき植樹帯を設置しており、安全な通行を確保するため、適切な維持管理に努めてまいります。 グリーンインフラを都市づくりに取り入れ、自然環境が有する機能を社会資本整備や土地利用等に生かすことで、効果的・効率的に自足可能な魅力ある都市づくを進めるため、グリーンインフラ活用型都市構築支援事業を、国からの交付金等の支援により実施しています。 令和５年度は、県内で３市が公園緑地の整備を、１民間事業者が民間建築物の緑化や緑化施設の整備を実施しています。
	④公園整備が進んでいる近隣の千葉市と東京都は新規職員採用に専門職として造園職種を募集（令和５年度千葉市・東京都各６人募集）しています。 県の都市公園整備の持続的発展が図られるように造園職種の募集ができるようにしていただきたい。	＜県土整備政策課＞都市公園整備にあたっては、土木職員の多岐にわたる業務の中で培われた幅広い知識や視点が活かせると考えており、引き続き土木職員の中から能力、適性を考慮して配置してまいります。
Ⅲ 造園業の育成について	①令和元年から、公園整備工事における造園工事発注の拡大を関係する土木事務所等に対し要望してきました。 しかしながら、令和４年度公園整備工事37件のうち造園工事７件、今年度発注見通し（８月時点）では公園整備工事27件のうち造園工事８件で15件は土木一式工事などの他工種となっており、造園工事での発注がなかなか進んでいません。 国の建設業許可事務ガイドラインによりますと造園工事の内容は「植栽工事」「広場工事」「園路工事」「公園設備工事」「緑地育成工事」と広範囲の業務内容となっており、公園整備工事の多くが造園工事に該当するものと考えています。 つきましては、公園整備工事において造園工事での発注が少ない要因は何か、また、どのようにすれば造園工事での発注が多くなるのかご教示をお願いします。	＜公園緑地課＞県立都市公園については、現在、八千代広域公園、市野谷の森公園、長生の森公園の３公園の整備を進めるとともに、既設の都市公園では、公園施設の長寿命化計画に基づき、施設の改修や更新等を行っているところです。 よって、公園整備工事は、新設工事と既存施設の改修修繕工事それぞれを進めている状況となっており、今後も、県内の各公園において事業の平準化を考慮しながら必要な予算を確保していきたいと考えています。 また、工事発注については、建設業許可事務ガイドラインに基づいて行うよう　土木事務所と共有しているところですが、今後は、年度当初に本課と土木事務所で建設工事の区分を把握するなど、「造園工事」の計画的な発注に努めてまいります。
	②本来、造園として関わる植栽空間は、心理的効果（安らぎ・ストレス緩和・癒やし）及び物理的効果（緑陰・蒸散・植栽地の保水と浸透）があります。 これらを効果的に利用者にもたらす為、確かな技術を持った技術者が適正に計画・植栽・管理して成立する物と考えます。 美しくきれいな植栽空間であれば、人々集まり、自分の所にも欲しいと思うのではないでしょうか。その空間を造る造園業に携わりたいと思うのではないでしょうか。 現在では、まず植栽そのものが無い（手間とお金が掛かる邪魔物）。造園業の仕事は、草を刈る、低木を刈る。植栽地の掃除をする。このような仕事しかしない業界に大事な我が子を入れますでしょうか？ そこで、地球温暖化で夏が異常に暑い今、改めて、緑・植栽空間の必要性をお考え頂き、積極的に県として公園や街路樹の適正な管理や再整備に着手していただきたい。	＜公園緑地課、道路環境課＞県立都市公園では、公園利用者への安全性の確保や景観に配慮すべく、日常管理における低木の剪定や除草などを指定管理者で行い、中高木の剪定や伐採を委託業務で実施しているところです。 公園が開設してから年月が経過しており、大木が繁茂していること、また一部の公園では、ナラ枯れなどが発生し、計画的な剪定や伐採が必要となるなど、引き続き、適正な維持管理と景観に配慮した樹木管理に努めてまいります。 また、蓮沼海浜公園及び富津公園では、公園の将来像として、テーマや方向性を示した「再整備に向けた基本方針」を令和５年３月に策定し、これに基づき、今年度は、サウンディング型市場調査による民間事業者からの提案等を踏まえ、再整備計画を作成していく予定です。 市街地における沿道の良好な生活環境を確保するため、道路構造令に基づき植樹帯を設置しており、安全な通行を確保するため、適切な維持管理に努めてまいります。
Ⅳ 働き方改革の推進について	①県は、工期の適正化にどのように取組んでいますか。 また、週休２日制を定着する取組みはどの程度定着が図られていると考えていますか。	＜技術管理課＞県では工期の適正化に向けて、国土交通省の土木工事標準積算基準に基づく作業日当たり標準作業量から算出した実日数に、準備期間、土日・祝日・降雨等を考慮した雨休率、後片付け期間等、既に週休２日制を考慮した工期を設定しております。 なお､国では今年４月から､猛暑日を考慮した工期設定となるよう「工期設定指針」を改定し、官積算で見込んでいる以上に猛暑日が確認された場合には適切に工期変更を行うほか、その工期延長日数に応じて「工期延長に伴う増加費用の積算」で対応するよう、運用を改定したところです。今後、県においても10月に改定を見込んでいます。 また、週休２日制を定着する取組については、県土整備部では、令和４年度より対象工事のすべてについて発注者指定型での発注とし、当初予定価格の積算において、あらかじめ４週８休達成相当の経費増額分を見込むこととしています。また、週休２日制適用工事の対象工事を拡大するとともに、技術者及び技能労働者が交替しながら４週８休以上の休日確保に取り組む週休２日交替制工事を導入しました。この結果、４週８休以上達成したものは94%となっています。 引き続き、受注者に対して週休２日の導入を呼びかけるなどにより、週休２日の意識の醸成を図り、更なる普及に努めてまいります。

項　目	協会の質問・要望	県からの説明の要旨
Ⅳ 働き方改革の推進について	②県は、公共工事の施工時期の平準化に向けどのように取組んでいますか。 　また平準化率はどのように推移していますか。	＜技術管理課＞県では、働き方改革の実現や職場環境の改善など、将来の担い手確保に向けた取組として、施工時期の平準化を進めることが必要であると考えています。 　平準化に向けて、いわゆるゼロ国債や２カ年債務の活用などに取り組んでおり、平準化率は、令和元年度が0.65、令和２年度が0.70、令和３年度は0.66となっています。
Ⅴ 森林環境譲与税の活用について	①令和元年度からスタートしました森林環境譲与税の今年度の配分は、どの位になりますか。 　また、４年が経過した中、森林環境譲与税を活用した森林整備の具体的な取組状況を教えてください。	＜森林課＞令和５年度は、令和４年度と同額が全国に譲与される予定であるため、本県においては、市町村分として881,560千円、県分として120,216千円、合計1,001,776千円が譲与される見込みです。 　令和３年度までの森林環境譲与税を活用した森林整備に係る市町村の取組としては、 ・災害に強い森づくりのための重要インフラ施設周辺での森林整備 ・ナラ枯れ被害木の伐採・搬出 ・間伐への補助 ・森林整備に関するアンケート、意向調査 などが実施されています。 　県の取組としては、法の規定により使途は市町村支援とされていることから、 ・都市部と森林地域をマッチングし、双方の市町村が連携して森林整備に取り組む「森林整備広域連携モデル事業」 を実施しました。 　なお、森林環境譲与税の使途については、決算を議会の認定に付した後に公表することとなっているため、令和４年度の使途については、各自治体から令和６年１月～３月頃に公表される見込みです。
	②森林整備の担い手で景観整備機構である当協会も森林整備の取組みに協力したいと考えています。 　森林環境譲与税活用の検討課題等の協議の場に参加させていただきたい。	＜森林課＞市町村が森林環境譲与税を活用して進める森林整備の推進に当たっては、担い手の確保は重要な課題の一つであり、現在、森林整備を中心的に担っている森林組合等の林業事業体に加えて、貴協会の会員の御協力をいただく場面もあるものと考えています。 　現在、市町村に配分される森林環境譲与税の使途は、各市町村がそれぞれの地域特性に応じて独自に決定しているところです。県としては、市町村に対して日常的に行っている普及指導員によるサポート業務等を通じて、貴協会の活動についても周知を図ってまいります。
Ⅵ 諸事項の改善について	①除草剤は、農林水産省をはじめ県の農林水産部安全農業推進課や農林総合研究センター病害虫防除課の指導のもと、農業分野では普通に使用がされております。 　当協会でも、各社、千葉県農薬管理指導士を在籍させ、適正に病害虫に対して対処しております。 　現在、除草剤は、ホームセンターなどで普通に売られ、誰でも簡単に手にする事ができる状況です。 　このような状況の中、植栽地や道路脇など既に抜根除草が難しい様な場合、除草剤を使用する事で、費用も時間も有効に使える様になります。 　そこで、管理における除草剤の使用をぜひ検討していただきたい。	＜道路環境課、安全農業推進課＞道路の維持管理における除草剤の使用については、他の都道府県の動向を踏まえながら、検討してまいります。 　なお、除草剤には、農薬登録のある除草剤と農薬ではない（登録されていない）除草剤の２種類があります。農薬登録のある除草剤の使用に当たっては、「農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令（平成15年農林水産省・環境省令第５号）」及び「住宅地等における農薬使用について（平成25年４月26日付け農林水産省消費安全局長他）」の記載事項を遵守されるようお願いします。
	②街路樹の剪定については、市場単価を適用して積算されていることが多いと思いますが、数年に１回程度の剪定頻度になっている現場も多く、現況樹高、枝張りとの間に大きな差異がある場合があります。 　樹木本来の樹形や樹木の特性を生かした美しい街路樹にするため、積算については将来の管理目標、現況を考慮した歩掛を検討していただきたい。	＜技術管理課＞本県では、国土交通省の積算基準に基づいて積算をしているところであり、 街路樹の剪定については、市場単価を適用しています。 　定期的な剪定が出来ない場合は、市場単価の適用除外となり、見積もり徴収等を行うこととしていることから、改めて周知してまいります。
	③年々暑くなり、熱中症対策、蜂対策等作業効率が悪く又人工も経費増えていくばかりのため、夏季の工事、業務の積算を検討していただきたい。	＜技術管理課＞夏季の過酷な作業環境下では、熱中症等のリスクがあるため、作業時間が十分に確保できず、作業効率が低下するものと認識しております。 　県発注の工事については、近年の夏季における猛暑日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して、現場管理費の補正を行っています。
	④入手しづらい樹木の植栽工事を発注する場合には、事前に市場調査をしてしっかり確認をしていただきたい。	＜技術管理課＞植栽工事を積算する際、樹木の単価については、物価資料等を参考にしています。 　物価資料に記載されている単価を採用した際は、物価資料に樹木の調達難易度が示されているため、必要に応じて納入時期を確認して工期等に反映する等、適正に対応いたします。

千葉県造園技能検定推進委員会設立50周年記念祝賀会

千葉県造園技能検定推進委員会は昭和48年10月に設立され、本年度記念すべき50周年の意義深い節目を迎えられたことから、令和５年11月20日（月）オークラ千葉ホテルにおいて、来賓並びに関係者58名の皆様にご臨席をいただき祝賀会が開催されました。

榊原副会長による開会の後、主催者挨拶として伊藤会長より「技能検定推進委員会は、造園技術・技能の向上を図るとともに後継者の育成に貢献するため、毎年造園技能検定対策講習会を実施し、平成24年の承継以来１級及び２級の実技と学科の受講者は1,751名、また、千葉県職業能力開発協会の委嘱により、毎年造園技能検定実技試験の採点に判定員として立ち会い、この50年間で１級と２級併せて3,400名の方々が合格され、技能士として造園業界の第一線で活躍されている」と活動内容など話されました。

次に、半世紀もの長きにわたり造園技能検定推進に多大なご尽力をいただきました技能検定推進委員会相談役岡部俊文様に伊藤会長より感謝状と記念品が授与されました。

次に、来賓挨拶として、はじめに熊谷知事は公務のため、知事代理の商工労働部次長秋山良一様より「県は、技能検定の実施や技能五輪など各種技能競技の大会へ若年技能者の参加を促進することにより、技能振興を図っていく」など祝辞の代読がありました。

続いて、千葉県職業能力開発協会会長赤星健二様より「技能検定や職業訓練等、職業能力開発促進に係る諸事業を幅広く推進するため、技能検定推進委員会のご協力をお願いしたい」などの祝辞がありました。

続いて、当協会顧問千葉県議会議員宇野裕様より「癒しと安らぎなど与えるみどり豊かな一番美しい景観の県となるよう緑化推進に尽力したい」などの祝辞がありました。

続いて、当協会顧問千葉県議会議員瀧田敏幸様より「造園技能士の地位向上を図るため、来年度、実技講習会を見学し、造園技能士が全ての入札の参加資格要件となるようにしたい」などの祝辞がありました。

次に、10名の来賓紹介後、来賓・協会役員・元千葉県造園技能検定推進委員会会長等10名の方々が２つの四斗樽酒を囲んで鏡開きが行われ、鈴木技能検定推進委員会委員長の音頭により枡酒で乾杯し、食事と歓談に移りました。

その後、令和４年春の叙勲で内閣総理大臣から「瑞宝単光章」を表彰されました元千葉県造園技能検定推進員会会長古舘公二様に伊藤会長、角田千葉県造園建設業協同組合理事長より記念品の贈呈がありました。

歓談中に、多年にわたり造園技能検定に携わってこられました、元千葉県造園技能検定推進委員会会長若井健治様、元千葉県造園技能検定推進委員並びに元協会長中村伸雄様、造園技能検定推進委員会委員遠藤直人様、元造園技能検定推進委員会委員長で現技能検定委員の蓬田浩一様の順にそれぞれの思い出を熱く楽しく語っていただきました。

そして、浮ケ谷副会長の閉会の挨拶で、和やかな雰囲気の中で行われた祝賀会を終えました。

また、設立50周年記念誌が関係各位のご協力により令和５年10月に発刊できましたことを心より御礼申し上げます。

（技能検定推進委員会委員長　鈴木康史）

祝賀会の様子

岡部相談役へ感謝状の贈呈

職能協　赤星会長　祝辞

鏡開き

乾杯

古舘元会長へ記念品の贈呈

関東甲信造園建設業協会協議会

関東甲信造園建設業協会協議会は、造園業界の課題や造園建設業協会のあり方などを協議するため、毎年関東甲信地域９都県の協会の持ち回りにより開催されています。

令和５年度は10月６日（金）、（一社）東京都造園緑化業協会主催により開催され１都８県64名が出席しました。当協会からは、伊藤高広会長、浮ケ谷容徳副会長、榊原正和副会長、森田春雄専務理事の４人が出席しました。

今回の協議会は、1923年９月１日関東大震災から100年の節目を迎えたことから、震災等の災害についてのテーマを中心として３部構成となっており、視察、協議会、懇親会へと順々に進んでいきました。

第１部の視察は、初めに東京都江東区有明の東京臨海広域防災公園本部棟の防災体験ゾーンで首都直下地震の発災から避難までの流れを体験する学習ツアーやオペレーションルーム等を視察しました。

次に、有明客船ターミナルから水上バスで臨海部および墨田川リバーサイトの美しい庭園風の隅田川テラスを視察しました。

次に、両国船着場から徒歩で横網町公園に移動し、大正11年東京市は陸軍被服廠の移転に伴い跡地を買収し、公園の造成を進めていた最中に関東大震災が発生し、その時この周辺の人々が被服廠跡に避難しましたが、運び込まれた家財道具に飛び火し、約38,000人もの命が奪われました。関東大震災による遭難者約58,000人の遺骨と東京大空襲（昭和20年３月10日）などによる殉職者約105,000人の遺骨が安置されている「東京都慰霊堂」と隣にある関東大震災の惨事を長く後世に伝え、また焦土と復興させた当時の大事業を祈念する「東京都復興記念館」を視察しました。

第２部の協議会は、第一ホテル両国で開催され、都県から提案のあった５項目について議論がされました。

１項目の「公園緑地と防災対策」は東京都より提案されました。都県と全てが防災協定を締結していましたが、発災時の人員、資機材、重機等の確保の規定がない県や平常時に防災訓練を行っている都県は少なく、千葉県では毎年９月頃に「千葉県県土整備部震災対策訓練」に参加し、その時県土木事務所からの出動要請により災害対策連絡網により情報伝達訓練を行い、９月の台風13号の影響で記録的な大雨により茂原市の「県立長生の森公園」が法面崩壊と倒木の被災があり、県の出動要請により協定に規定されている施工業者が災害応急復旧工事を実施したことなどを報告しました。

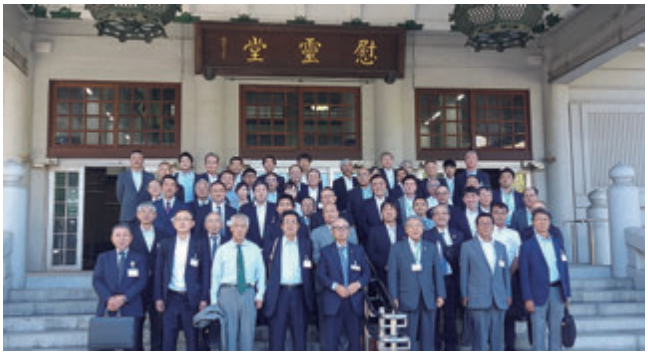
２項目の「県庁等の造園技術職員の採用状況」は山梨県から県に要望したいということで提案されました。都が毎年度５～12名程度採用している以外に採用枠を設けている県はありませんでした。

３項目の「除草剤の使用」は千葉県から緑地や道路等に除草剤を使いたいと県に要望するため、都県の使用実績を知りたいために提案しました。直近３年間で県道の中央分離帯や歩車道境界ブロック付近での試行的な除草剤の使用が埼玉、茨木、山梨、群馬でありました。

４項目の「働き方改革への支援」と５項目目の「委託業務のＪＶ発注」は都から提案されましたが、資金面での支援、税の軽減などは都以外ありませんでした。また、全ての県がＪＶ発注の可能性はないとのことでした。

第３部懇親会では、都県の話題・トピックスなどについて話され、千葉県の伊藤会長が県立公園工事の発注見通しでは、７割以上が土木一式工事などの他工種で入札に参加できないため、８月県立公園のある７つの土木事務所に「公園工事における造園工事発注の拡大」の要望活動を行い、その後、他工種から造園工事に変更して発注する案件が見られるようになったことや「千葉県造園技能検定推進委員会」が今年度50周年を迎え、記念誌の発刊を10月末、記念祝賀会を11月開催に向け準備を進めていることなど話されました。

なお、次回の開催は長野県になります。



東京都慰霊堂前集合写真

協議会全体会議

第61回技能五輪全国大会

～「造園職種」で初入賞・銅賞～

令和５年11月17日（金）から21日（火）に、愛知県で、国内の青年技能者が技能レベルを競い合う「第61回技能五輪全国大会」が開催されました。

「造園職種」では、これまで千葉県勢の入賞はありませんでしたが、今大会で初めて、千葉県立我孫子高等技術専門校造園科の生徒の吉野 真輝（よしの まさき）選手（22歳）と同校同科の元生徒（令和３年度修了）で現在株式会社新松戸造園に所属する山田 虎次郎（やまだ こじろう）選手（21歳）のペアが入賞し、銅賞に輝きました。

千葉県立我孫子高等技術専門校造園科の生徒たちが、平成28年度から７大会にわたり技能五輪全国大会「造園職種」に挑戦してきた経験が実を結び、今回、千葉県勢として初めての入賞、銅賞という快挙を達成することができました。大会終了後、技能五輪全国大会入賞者で千葉県へ結果報告を行いました。

技能五輪全国大会の概要

・主　　催：厚生労働省、中央職業能力開発協会
・日　　程：令和５年11月17日（金）から
　　11月21日（火）まで
・会　　場：愛知県国際展示場ほか
・競技職種：造園、建築大工、左官など41職種
・参加選手：競技参加選手は1,010名
　　（千葉県：７職種17名）
・出場資格：地方大会で優秀な成績を収めた原則23歳以下の技能者

完成（銅賞受賞　山田・吉野ペア）

技能五輪全国大会「造園職種」の概要について

・競技は、令和５年11月18日（土）から11月19日（日）の２日間（計10時間30分）愛知県の旧常滑高校グラウンドで実施。
・今大会の競技課題は、石積みやレンガ積み、乱張りなどの石材作業、木材を加工して、フェンスやアーチを製作する作業など、庭造りには欠かせない様々な技術を駆使して、西洋風の小規模庭園をつくりあげるもの。
・農業高校や専門学校、大学、企業など様々な団体から出場した21組42名が、石材・木材・芝生・植物などを使用して、競技課題の完成度や技術を競った。

（広報副委員長　松戸克浩）

製作作業

全国造園フェスティバル「花と緑で美しい日本を！」

全国造園フェスティバルは、（一社）日本造園建設業協会が、現代都市の庭である都市公園整備の根幹となった「都市公園法」の施行50周年と連動し、環境と景観の時代である21世紀に求められるまちづくり、地域づくり、美しい国づくりに、すばらしい造園の技術が生かされていることを、広く市民の方々に知って頂くことを主旨・目的とし、2006年より「花と緑で美しい日本を！」をテーマにスタートしました。今回で18年目の開催になります。

昨年は県内３ヵ所で開催されました。

① **千葉県立行田公園**
10月７日（土）藤木園緑化土木㈱

② **船橋市天沼弁天池公園**
10月14日（土）15日（日）㈱船橋造園協同組合

③ **千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道**
10月21日（土）㈱新松戸造園

それぞれの会場で趣向を凝らした企画を実施し、多くの市民と交流を図り「造園」を発信しました。

（日造協千葉県支部副支部長　佐藤正幸）

① 千葉県立行田公園～行田フェスタ2023，植樹体験，グランドゴルフ教室等

② 船橋市天沼弁天池公園～緑の相談コーナー，花苗，園芸用黒土の無料配布等

③ 千葉県立手賀の丘自然ふれあい緑道～ラジコン草刈り機、キッズマルシェ等

街路樹剪定士
～「切るも剪定、切らぬも剪定」～

美しい街づくりにとって、都市の緑の骨格を形成する街路樹は、きわめて大切な役割を持っています。一般社団法人日本造園建設業協会（日造協）では、街路樹剪定の技術者を育成するために「街路樹剪定士」認定制度を平成11年に創設し、以来24年が経過しました。令和４年度末までに全国で14,845名、うち千葉県では916名の街路樹剪定士が県内各地域で活躍しており、技術が世に示され、今では入札条件や特記仕様書等に記載する自治体が多くなってきています。

日造協千葉県支部では、昨年11月14日・15日の２日間、千葉市の幕張で学科及び実技の研修会・認定試験を実施し、37名が挑戦しました。初日は、総論のほか基本的事項・剪定・病害虫・植栽基盤整備・安全衛生管理・剪定のケーススタディについて日造協街路樹剪定士指導員の講義に耳を傾け、学んだ後に学科試験を実施しました。２日目の実技試験では、プラタナスとイチョウについて、１人１本ずつの街路樹をそれぞれの樹種に適した剪定方法で樹形を整えるとともに、安全確保等の詳細にいたるまでの実技試験を実施しました。また、研修会では、県内各自治体の街路樹担当課より11名と多くの方に参加していただき、造園建設業の仕事として広く啓発に努めました。

街路樹の剪定に必要な技術として、日造協では「効率的な切返し剪定」を推奨しています。切返し剪定で大切なのは、枝替えと枝抜きを頂部優勢にしてバランスよく仕上げることに尽きます。

実技試験では、目標樹形のプロポーションや頂部優勢をコントロールした剪定部位はもちろん、適正な剪定位置、丁寧な芽の残し、不要枝と必要枝の選別等の技術面だけでなく、墜落制止用器具等の装備面、枝の降ろし方等の安全面も判定します。

「街路樹剪定士」認定制度は、街路樹の剪定に携わる造園技術者ひとりひとりの自己研鑽とともに、現場で優れた技術・技能を発揮していくことを目的としています。制度が出来る前は、本来の樹形や剪定方法を全く無視した無残な街路樹が全国各地域に存在していました。このような課題も年々減少し、現在は、街路空間に合わせた目標樹形のプロポーションを、行政・業界が共有するようになりつつあります。街路樹剪定のスペシャリストとして、長い年月をかけて都市の統一美として実現させる持続可能なマネージメント能力が今、街路樹剪定士には求められています。

街路樹は、生活に潤いをもたらし都市美をつくり上げる機能のほか、ＣＯ２の削減・ヒートアイランド現象の緩和・野生生物のコリドー・防災・大気汚染物質の吸収吸着等の効果があります。生き物を扱う唯一の建設業として、資格取得後も技術・技能の研鑽に努め、単に木を切るということではなく剪定により形成される街路樹の魅力を広め、地域に帰って地元の街路樹は我々が守り、育て、美しい景観を維持する意気込みで取り組んで欲しいと思います。

「効率的な切返し剪定」は、日造協が推奨する街路樹剪定の剪定技術です。

（日造協千葉県支部副支部長　松戸克浩）

ケーススタディ（イチョウ）

実技認定試験（イチョウ）

実技認定試験（プラタナス）

植栽基盤診断士
～植栽基盤のスペシャリストとして、技術提案を～

植栽樹木の枯損や生育不良の原因で最も多いと推測されるものが、固い地盤や排水不良などによるものです。

一般社団法人日本造園建設業協会（日造協）では、植栽基盤に関わる総合的な知識と卓越した技術提案力を持つスペシャリストとして「植栽基盤診断士」認定制度を平成15年に創設し、以来20年が経過しました。令和４年度末までに全国で1,730名、うち千葉県では72名の植栽基盤診断士（士補は全国で2,125名、うち千葉県で83名）が県内各地域で活躍しており、現在では国土交通省や都市再生機構等で仕様書等に記載されてきています。

そこで、日造協千葉県支部では、植栽基盤診断に必要な５項目（物理性４項目、化学性１項目）について千葉県版の標準見積書を作成し、千葉県下の行政への要望活動のひとつとして準備しました。

物理性４項目については、

▽土壌断面（長谷川式大型検土杖の取り扱い、測定手順、記録）

▽土性・土色判定（指頭法・標準土色帖の土色判定と判定結果の記述）

▽土壌硬度（長谷川式土壌貫入計の取り扱い、測定手順、測定結果のグラフ化と評価）▽透水性（長谷川式簡易現場透水試験器の取り扱い、測定手順、最終減水能の算出と評価）を標準とし、

化学性１項目については、

▽PH・EC測定（測定準備、測定液の取り扱い、測定器の校正作業、測定の手順と読み取り、判定）を標準としています。

また、これら５項目の判定結果をもとに、技術提案をする流れになっています。

土壌断面

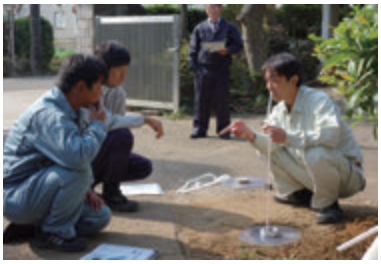
植栽地の改良提案をするためには、現場調査・土壌の物理性化学性の診断・排水性の確保・植物の性質や植栽工法・経済性の比較など、施工者側の植栽基盤に関する高度な知識と技術が要求されるため、質の高い技術者を育てていくことが必要です。

「植栽基盤診断士」は、植栽基盤・土壌・植物・植栽に関する知識と経験があり、土壌調査・診断結果をもとにした処方能力を総合的に備え、植栽基盤整備“植物が良好に育つ土壌環境”を整えるスペシャリストです。

「植栽基盤診断士」に求められる能力として、下記の事項があげられます。

土性・土色判定

土壌硬度



透水性

PH・EC測定

① 植栽予定地の現況調査・診断・植栽基盤整備に必要な土壌の物理性、化学性の知識

② 植栽されるさまざまな植物の総合的な知識

③ 植栽や移植に関する多様な工法、経済性の知識と技術

④ 植栽地盤の調査・診断技術と、植栽基盤整備の視点に立って下す処方能力

⑤ 発注者などに対し、施工性、経済性を考慮して、明確なデータを示しながら行う技術提案力と説明力

（日造協千葉県支部副支部長　松戸克浩）

伐木等業務（チェーンソー）特別教育

令和５年10月２日（月）～４日（水）の３日間、千葉県木材市場協同組合（東金市）の多目的ホールにおいて伐木等業務（チェーンソー）特別教育が行われました。

チェーンソーを用いて行う伐木等作業は労働災害の発生率が高く、安全対策を強化するため労働安全衛生規則の一部が改正され、2020年８月１日以降は伐木造材作業等に従事するには特別教育を修了しなければ業務に就くことができないこととなっています。

そこで日造協千葉県支部では県造協との共催により、伐木等業務（チェーンソー）特別教育を計画し10名が受講しました。講師は林業・木材製造業労働災害防止協会千葉県支部担当者で、学科教育９時間、実技教育９時間を受講しました。

現場で使い慣れている方もほとんど未経験の方も伐木手順・手法をはじめ刃の研ぎ方、メンテナンス等勉強になる事が多かったと思います。

チェーンソーは通常業務でも使用する事は多いと思いますが、台風等災害発生時の倒木処理には我々の出番です。特に安全面には留意する必要があります。夏季や高所でチェーンソーを使用する場合、邪魔扱いされてしまう防刃手袋やチャップスですが、自分の身を守るための装備です。過酷な作業条件の時こそ安全装備には最大限の配慮を行ってください。

受講には経験年数等はありません。誰でも受講できますので、いざと言う時のために必須の教育となっております。新人さん含めチェーンソーを扱う可能性のある方は全員是非受講をお願いいたします。

（日造協千葉県支部幹事　山下智一）

学科教育

実技教育

フルハーネス特別教育講習会

令和５年８月24日（木）、（一社）日本造園建設業協会千葉県支部と千葉県造園緑化協会共催の「フルハーネス特別教育」が千葉県経営者会館（千葉市中央区）で開催されました。

開会にあたり伊藤支部長から、「フルハーネスを用いた高所作業の安全向上につながるようしっかり学んでいただき、現場で働く人々の健康と安全確保に務め、作業の効率化を図ることができるよう役立ててほしい」と挨拶がありました。受講者は20名で日造協会員会社３名、県造協会員会社15名、一般（造園会社）２名でした。

講師は、造園特有の高所作業に特化した内容の講義で定評のある、日造協技術アドバイザーの野村徹郎氏が務めました。受講者も造園業に適したフルハーネスを持参、また、日造協から貸し出しを行い受講しました。講習項目は、法令関係、フルハーネス作業、労働災害、墜落防止用器具に関する知識などの学科教育4.5時間と、実技教育1.5時間で実技では造園用フルハーネスの装着の仕方を全員が室内で学んだあと、近くのみなと公園に徒歩で移動し、実際に４本の樹木を使いワークポジショニングや、昇降・ぶら下がり墜落体験などを全員が順番に体験しました。「フルハーネスは命を守るための道具です」という野村講師の強い言葉に、受講者は最後まで真剣な態度で取り組んでいました。最後に修了証が手渡され終了しました。

（日造協千葉県支部幹事　大久保裕昭）

学科教育

実技教育

緑地樹木剪定士
～次世代に良好な緑環境を～

公園や緑地などオープンスペースにおける樹木は、誰にとっても身近な緑であり、その役割は、良好な景観の形成や大気の浄化、災害時の延焼防止など都市環境の創出にとどまらず、安らぎや癒しといった心理的効果など多彩であります。

コロナ禍を経て、緑のオープンスペースはその価値が再認識されており、それと同時に樹木の良好な育成や安全対策の実施といった、公園・緑地機能の適切な保全・確保・向上の必要性は年々高まっています。

（一社）日本造園建設業協会では今年６月、公的空間の緑地樹木を管理対象とした「緑地樹木剪定士」資格制度を創設しました。

この資格制度の意義は、公園や緑地などの管理者とその利用者の間に立って、公共的緑地空間に植栽された多様な樹木を対象に、緑地の利用者が快適に安全に利用できる造園空間を提供するとともに、緑地の管理者へ提案できる技術者を養成することです。

「街路樹剪定士」が持つ能力や経験をベースに、公園などのオープンスペースの樹木に関する知識を兼ね備え、適正な管理手法の提案から剪定などの育成管理、日常の安全点検までを一括で担うことが求められます。

街路樹は道路空間条件を踏まえて樹形のなどの「統一美」に主眼を置いていますが、オープンスペースにおける樹木には植栽の目的・機能・役割を理解したうえで、その場所・その樹木それぞれの個性を活かし、その場にふさわしい景観づくりや景の創出を求めています。

これまで公園や緑地における樹木の管理者からの、発注の際に活用できる資格制度の問い合わせに対し、街路樹剪定士の資格活用が道路分野に限定されることなく、公共的緑地樹木までを対象にし、拡大する形となりました。

資格取得には、「街路樹剪定士」の有資格者を対象に日造協が実施する緑地樹木剪定士研修会の受講と認定試験の合格、登録認定が必要です。令和５年末までに全国で約2,000名、うち千葉県内で約140名の登録認定を予定しています。

次世代に良好な緑環境を育成・維持していくためには、質の高い維持管理が必要です。継続していくために質の高い技術者・技能者を育成し、社会から造園技能に対して正しく評価されることが大切です。

（日造協千葉県支部幹事　齊藤典之）

緑地樹木剪定士の活用

2023年度　日本造園学会全国大会報告

造園の魅力
ー社会から必要とされる造園産業界の仕事とはー

1．趣旨

「造園の魅力」の第３弾として，造園施工業界・設計業界・施設業界・大学のそれぞれの視点から，造園産業界の現状がどのように見えているのか，そして，造園力を高め他の業種（産業）とも手を組み広範かつ具体的な社会的ニーズを満たすためにどのように高付加価値化できるのか，前向きに議論するために開催した。

2．話題提供

司会の廣部修平（㈱南香園，（一社）日本造園建設業協会地域リーダーズ）の開催挨拶と趣旨説明の後，コーディネーターの酒井一江（㈱淡窓庵，（一社）日本造園建設業協会女性活躍推進部会）により進行。各話題提供者により，自己紹介と「これも造園？」という事例を紹介。

大塚広夫（㈱雲松園，（一社）日本造園建設業協会地域リーダーズ）

山梨で造園建設業の他に農業法人を経営。造園の仕事では公共や個人が相手だが，農業では地域連携や福祉とも連携し社会にも貢献できる。今回の学会全国大会の発表でも農に関わる内容も多く，地方の課題解決策の一つであると実感した。

地方は，人口が少ないがみんなが知り合いでネットワークを作りやすく，都会に比べすそ野を広げられるため，色々な可能性がある。また，植物を扱う柔らかいイメージのある造園は，地域でリーダーシップを取りやすい。造園が持っている要素と地域活性化の相性が合うと実感している。

造園に携わる人が，地域で声をあげ，スタートを切る役割を担っていただけたら良い。

大橋尚美（（株）戸田芳樹風景計画，全国女性造園技術者の会）

東京の設計事務所で，ランドスケープ×園芸＝フラワーランドスケープという仕事に従事。横浜市の３年間のプロポーザルで緑地の管理とアドバイザーを行っている。

日本大通りの街路樹や赤レンガ倉庫の港湾緑地により，魅力的な街ができている。これは，計画した目標について，役所の人達と歩きながら評価・検証し，実現していることが，若い技術者の気づきの場となり，技術者の育成にもつながっている。このような仕事の手法は，人が育成でき，関係する仲間とのつながりもできるのが魅力である。

また，全国都市緑化よこはまフェア（2017年）の成果を継承し，花と緑の文化を発信するため「里山ガーデンフェスタ」を春秋の年２回開催。横浜産の花を植えることにしており，花農家の生産計画，造園の人が花を，花の人が樹木を知るきっかけになった。熟知した人が教えることで関係者の連携が生まれた。このように街の中で，花と人の連携，技術の高質化が自然にできている。

来場者の喜ぶ声に刺激を受け，生産に活かし，さらに仕事の励みになっている。花の世界を，造園･農業･園芸の三位一体でできることは幸せである。

内田拓秀（内田工業㈱，（一社）日本公園施設業協会）

愛知県の公園遊具･施設メーカー。バリアフリーは目的地に到達できること，ユニバーサルデザインは目的に沿った物かどうか，インクルーシブはすべての人が利用できる公園や空間のことである。ベンチの幅一つとっても，暮らしのスケール，利用者目線で考える必要がある。

子供のころの経験を活かし，自然の中で遊んだことを，公園の中の遊具でも同様に遊べるように，これからの子供の成長を助け，経験ができる遊具を作っていきたい。

金岡省吾（熊本大学，（公社）日本造園学会）

大学で地方創生を社会人，大学生，高校生に教え，学会では財務経営を担当。公園×○○として，×イタリア料理や×サッカー教室などで公園が活性化している事例がある。

最近は地方創生に興味ある学生も多く，アイデアを持った良い人材も集まりやすい。NTT や吉本興業など大企業も地方創生というキーワードでボランティアでなくCSVとして地域課題解決の活動を仕事に繋げている。すなわち，社会に必要とされる公園を提案できることが大切であり，造園･地方創生を通じて，造園業界以外の人々もWIN になる考えを持っていただきたい。

地方に魅力がないと，都会に出た若者が地方に戻ってこない。稼ぐ地域づくりが，その地方で活躍したいという若者の意識変化を引き起こし，地方創生につながる。

そうすると「造園」を事業主体にするのではなく，利用者に求められる活動やしくみ(ソフトやサービス)を活用した事業を主体にしたほうが上手くいくことが多い。

3．意見交換

造園業界としては，そもそもサービス業であることを根底に，現状の地域課題を深掘りして，そこに活かせる自社の得意分野や実現可能で魅力的なアイデアなど，地域が求める多様性のある仕事を例えば公園運営等に活かしたい。そのためには，行政と業界がコミットするだけでなく，子育て，教育や福祉，農業の分野との連携も望まれる。

「これも造園？」という事例では，漁業や観光農園，牧場，会社の敷地を地域の憩いの場として事業展開をしている会社もある。自分の遊び心がどこにあるか，自社の持っている技術をふり返り，造園の魅力を広く伝えていきたい。

企画責任者：松戸　克浩
((一社)日本造園建設業協会 地域リーダーズ総リーダー)

ミニフォーラム 造園の魅力　発表者たち

ミニフォーラム会場

日本造園学会全国大会会場（南九州大学）

アミノバイタルトレーニングセンター宮崎視察

第40回 全国都市緑化仙台フェア

未来の杜せんだい 2023

～ Feel green！～

2023年5月31日～6月1日まで開催されました

５月31日～６月１日にかけて、宮城県で行われている「第40回全国都市緑化仙台フェア　未来の杜せんだい2023」に広報委員３名で視察に行ってまいりました。

仙台城跡地と隣接する青葉山や広瀬川に囲まれた仙台を象徴するエリアがメイン会場で、その会場中心に視察を行いました。

当日は天気が良く、少しひんやりとした風が吹き抜ける過ごしやすい中で、視察を行うことができました。

メイン会場は、仙台の伝統的な屋敷林「居久根（イグネ）」の知恵を取り入れた５つのテーマガーデンからなる「杜のリビングガーデン」や、約6,700㎡の敷地を彩る大花壇「はなばた飾り」、出店花壇・庭園などで構成されています。

大花壇は、「はなばた飾り」という名前の通り、仙台七夕まつりの吹き流しや伊達家の水玉模様陣羽織をモチーフとしており、仙台城跡地の高台から見る、約200品種・12万株の花苗による大花壇は圧巻でした。

出店花壇・庭園では、造園団体・企業の匠の技が光る庭園や、宮城県内の造園を学ぶ学生らによる、フレッシュな感性で作られた花壇や庭園をじっくりと見て回りました。

また、仙台駅ペデストリアンデッキ・定禅寺通・青葉通・宮城野通等で構成されている街中エリア会場では、地元の小中学生と市民の方が花を植えたウエルカムガーデン・花のモニュメント・フラワープランターが設置されており、たくさんの花が咲き誇っていて見事でした。

また、仙台の街並みは、電線等が地下に埋設されているすっきりとした広い空間になっており、立派な樹形の街路樹に感嘆してしまいました。

他にも西公園南川地区・広瀬川地区会場には、フォレストアドベンチャーと銘打った公園の樹木を利用し

メイン会場

メイン会場全景

たアスレチック、海岸に面した東部エリア会場には、馬術場や震災遺構仙台市立荒浜小学校せんだい3.11メモリアル交流館等がありましたが、今回は日程の都合上訪れることができませんでした。

さらに、各会場では、６月18日迄の開催期間中に熱気球体験や仙台ストリート音楽祭、MONKEYMAJIKアコースティックライブなどが開催されるとの事でした。

休憩時間に、大花壇や庭園に囲まれた中、涼しく気持ちいい風を浴びながら旨いアイスコーヒーを飲み、日々の喧騒を忘れリフレッシュ出来ました。

（広報委員　海瀬大五郎）

リサイクルベンチ

壁面緑化

ミニSL

企業出展

はなばた飾り

都市公園制度制定150周年記念
「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会

第１部
　日時：令和５年10月25日（水）
　　先進事例発表会　10：50～16：10
　場所：国立オリンピック記念
　　青少年センターセンター棟４階「417室」
第２部
　日時：令和５年10月27日（金）
　　全国大会　13：30～17：00
　場所：飯野ビルディング４階「イイノホール」

　主催：一般社団法人　日本公園緑地協会
　後援：国土交通省・独立行政法人　都市再生機構
　協賛：一般社団法人　日本造園建設業協会
　　他18団体

開催趣旨

明治６（1873）年１月15日の太政官布達（布告）第16号により公園制度が設けられ、明治20（1887）年までに、全国で約80公園が設置されるなど、我が国の都市公園の基礎が築かれました。

令和５（2023）年は、この太政官布達（布告）から150周年を迎える記念の年となることから、これまでの我が国の都市公園の歴史や果たしてきた役割を振り返りつつ、公園の意義・必要性を国民一般に広く再認識してもらうことや将来に向けた公園のあり方を提案・発信していくことを通じて、都市公園の更なる発展を図るまたとない機会です。

本年度の都市緑化月間の「ひろげよう　育てよう　みどりの都市」全国大会は都市公園制度制定150周年記念事業として開催しました。

内容

大会は、第１部先進事例発表会と第２部全国大会で実施されました。第１部では公園緑地関連三賞受賞作品発表会「今年の№１はこれだ」と題して、各受賞作品の先進事例発表がなされました。

第２部式典では高梨雅明（一社）日本公園緑地協会会長が主催者挨拶、石橋林太郎国土交通大臣政務官の来賓挨拶がありました。その後、「令和５年度都市緑化及び都市公園等整備・保全・美化運動功労者」の表彰が行われました。又、併せて「第39回都市公園コンクール入賞者」の表彰も行われました。本年は当協会会員である㈱新松戸造園が施工した「あそびのすみか21世紀の森と広場」が材料・工法・施設部門で国土交通省都市局長賞を受賞しました。

講演・報告では、「都市公園制度制定150周年記念未来の“みどり”をどう描き、実現していくか」と題し全国都市公園整備促進協議会会長で船橋市長の松戸徹氏が講演し、みどりの持つ多様な機能や効果を一層活用し、近年の公園に求められる新たなニーズに対応する公園の整備・管理を進めるなど、引き続き、国、地方公共団体、民間が連携して、さらなる緑の確保を進めていくと講演されました。報告では「都市公園制度制定150周年記念事業」について、国土交通省都市局公園緑地景観課国際緑地環境対策官の辻野恒一氏が東京都、大阪府、横浜市での記念事業の報告説明をされ大会を終了しました。

（日造協千葉県支部副支部長　佐藤正幸）

（一社）日本公園緑地協会　高梨会長挨拶

（一社）日本造園建設業協会役員の皆様と㈱新松戸造園松戸社長

ヤツデ（テングノウチワ）ウコギ科
Fatsia yaponica Decne.et lanch

樹木医　冨塚　武邦

ヤツデは葉の形や植栽の多さから、サクラ、マツ、モミジ、ツツジなどに伍して認知度は高い。東北地方南部から四国、九州、沖縄、朝鮮半島の海岸部の林下に分布する常緑低木で樹高２～４m、株立ち状。枝はまばらに分枝し雌雄同株。名称は葉が掌状に深裂することに因る。なお別名テングノウチワは疫病を追い払い、魔除けになるとの縁起からつけられたもの。属名のファッシャは八手の読み、ハッシュに因み、種小名は日本。性質は丈夫で土質を選ばず、栽培も容易であるが乾燥を嫌い、陰樹のため半日陰が望ましい。特異な掌状の厚い葉は裂片数が７～11個に深裂するが、偶数はないと言われ通常７～９個となる。先端は鋭尖で鋸歯があり、幹の先端に輪生状に互生し葉柄が長い。葉が落ちた跡は葉痕が明白に残る。花は晩秋、先端に球状の散形花序が集まって大きな円錐花序をつくる。花弁は小さいが花と茎が黄白色で目立ち、他の花が少ないため、気温が高い日はハナアブ、ミツバチなどの訪花昆虫が集まる。両性の花は自家受粉を避ける仕組みの雄性先熟で、先の雄性期では５個の花弁と５本の雄しべの雄花が先に開花し、花弁と雄しべが落ちた後に５本の花柱が発達して雌性期となる。また幹の先端に開花するので、生長点が消失するが、下方から腋芽を生じ伸長することを繰り返す。これを連軸性分岐と呼ぶ。果実は翌春黒く熟し、ヒヨドリ、スズメ、カラスなどが採食する。近年の地球温暖化の影響や野鳥による種子散布で、分布域を広げている。陰樹であり扱いやすいため、公園樹、庭園樹、目隠しなどに広く利用され、また掌状の葉が人を招くとの縁起から飲食店の玄関わきに植栽されることもある。ヨーロッパでは1858年に入り、アオキとともに日陰に強い日本の植物として珍重された。ヤツデはどこにでも普通にあり見慣れた樹木だが、特異な性質や、晩秋の開花にも目をかけていただきたい。

ヤツデ雄性先熟（岸氏提供）

ヤツデの花序　円錐花序（石谷氏提供）

委員会報告

総務委員会

委員長　平川　昌宏

会員の皆様方におかれましては平素より協会の理念に賛同し、その活動にご協力頂きまして誠にありがとうございます。今年度も震災有事の対策訓練や会員皆様のスキルアップ、会員相互の親睦を深めていただくために総務委員会では各イベントを企画してまいりました。以下あらためまして紹介いたします。

まず、４月には千葉県建設産業団体連合会主催、一般教養及び建設業に関する基礎知識習得のための新入社員研修会が開催され、会員企業６社７名が参加いたしました。

９月には千葉県県土整備部震災対策訓練に参加予定でしたが、９月５日発生の台風13号の対策の為延期となりました。また、同時に協会独自の災害情報伝達訓練、施工業者によるパトロールも予定されておりましたが、あわせて延期となりました。その後、県から11月中旬に令和６年１月17日実施予定の連絡がありました。

また、震災訓練の報告、改善を目的とした本部、施工業者、班長の合同会議と同日開催予定の実務者セミナーは令和６年１月30日開催予定です。

その他、ゴルフ大会は11月22日、忘年会は12月５日に開催いたしました。

事業委員会

委員長　浮ケ谷　容徳

令和５年度の事業委員会の活動について、ご報告いたします。

○　県との意見交換会について

この事業は、我々造園業界の状況や要望を県の関係部局幹部の皆様に直接届ける場として毎年開催しています。

本年度は、９月７日に千葉市のオークラ千葉ホテルで、会員皆様から頂きました要望・質問事項をまとめた要望書を元に、協会役員等14名と県からは県土整備部小川局長をはじめ17名の県職員の方に参加していただき、活発で有意義な意見交換の場となりました。

今後も引き続き様々な機会をとらえて、造園業界の発展のために県当局に質問意見を述べて行きたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

また、県当局からの要望で、「県造協の会員が、どのくらいの数の人が資格を保有しているのか教えてほしい」とありましたので、急遽、会員各位にアンケート調査を実施した次第です。結果、会員140社全会員より回答を頂きました。多くの会員の方に協力を頂き有難うございました。

○　造園課程を置く高等学校との情報交換会

この事業は、将来の業界を担う人材育成を目的として、学校関係者、県当局を交えて毎年行っている情報交換会です。

今年度は、７月31日千葉市のオークラ千葉ホテルで、協会役員等14名と県学校関係者、流山・成田西陵・茂原樟陽・薬園台高等学校、我孫子高等技術専門校（教諭）５名と県庁商工労働部雇用労働課及び県土整備部建設・不動産業課の担当職員３名計22名が出席し参加しました。

はじめに協会側から「後継者育成に係る協会の主な事業」の内容について説明を行い、その後学校側から出前授業、校外授業等についての要望、造園会社への就職状況、本年度の求人情報の提供などが出されました。これらの後継者育成に関し幅広い情報交換を行いました。

技術委員会

委員長　川西　正人

○法人の森整備事業（横芝光町）

山武郡横芝光町の法人の森整備事業は、平成28年３月、広葉樹のウバメガシ、タブノキ、モチノキなど９種類、614本の苗木を植樹しました。

その後、毎年度、生育調査･育成管理を実施してきましたが、令和５年３月31日県との協定期間が終了しました。

７年間にわたる生育調査結果及び客土、緑肥植物、防風ネットの効果や海岸防災林植栽の広葉樹植栽樹種の選定などの考察を取りまとめた報告書を作成し、令和５年７月関係する千葉県農林水産部森林課、千葉県北部林業事務所、千葉県森林研究所に提出しました。

○門松づくり講習会

協会員の皆様に、伝統技術の継承として始まった本格的な門松づくり講習会。

今までに数多くの協会員の皆様が参加していただき、それぞれの会社でも年末に製作しているとの声も聞くようになりました。

今年度も、協会員の皆様が講習を通じて作り上げられた門松は、県庁及びこども病院、リハビリーテーションセンターに３門の門松を寄贈させて頂きました。

それぞれの寄贈先において、門松設置の際には温かい喜びの声と感謝の言葉を頂いております。

また、一般の方々へのミニ門松づくりは、今年度は、新型コロナウイルスの感染が落ち着き、いろいろな規制が緩和されましたので、昨年よりも参加人数を多くして、講習会を開催する運びとなりました。

少しでも多くの方々が伝統文化へ触れる機会を増やしていけるよう、協会員の皆様の更なるご協力を宜しくお願い致します。

広報委員会

委員長　湯浅　浩一

広報委員会では、ちばの緑の発行を初め協会広報、パンフレット作成及びホームページによる広報活動をしています。また、広報活動の一環として小・中学校への出張授業を委員会より講師を派遣し、造園業に関心を持っていただき、造園の仕事を理解して頂くようにしています。出張授業では、造園業だけで２時間の授業になり講師も４人に増やし市川塩浜学園（小中一貫校）４年生、栄町立安食台学校６年生達に日本庭園、インクルーシブル公園、造園技術、バラについて説明し熱心に聞き入っていました。ちばの緑は、協会事業の取り組みや、参考になることが掲載されています。会員の皆様に、事業につながればと思い、そして協会活動や、広報活動でわかりやすく紹介できるよう努めてまいります。お気づきの点や有益な情報などがございましたらどうぞ、お知らせ下さい。

造園技能検定推進委員会

委員長　鈴木　康史

実技試験（製作等作業試験）は令和５年７月29日（土）・30日（日）の２日間にわたり千葉県立我孫子高等技術専門校で実施しました。１級18名、２級73名の方が受験されました。また､判断等試験（要素）は８月25日（金）に、学科試験は８月20日（日）にちば仕事プラザで実施しました。

真夏の蒸し暑い中で実施されるため受験者には大変な実技試験となってしまいます。試験には制限時間等があり、正確、時間、体力、気力が一つでも欠けると合格出来ない試験です。令和５年度の合格者は１級１名、２級41名が合格されました。

造園技能検定推進委員会では100％の合格者を目指し対策講習会も実施しています。

製作等作業講習会では、技術を持つ講師が受講生に基本から親切丁寧に講習をし、パワーポイントを用いて製作順序や注意点も詳しく教え、指導を行っています。

また、判断等講習会（要素）では、実際に樹木の枝葉を見て試験さながらの講習をしています。

学科講習会では、過去問50年間分を厳選し講習しています。

講師の方々には大変ご尽力をいただき、千葉県の造園に対する知識、技術向上を目指していただきたいと思います。

今後、造園技能士を受験される方は、ぜひとも講習会の受講をお勧め致します。

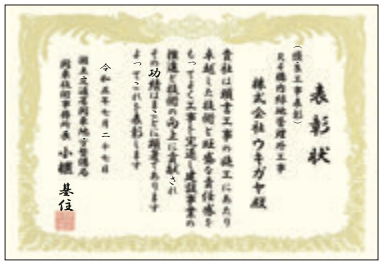
お知らせコーナー

令和５年度　優良工事表彰を受けられた会社を紹介します

●千葉県知事令和５年度優良建設工事表彰

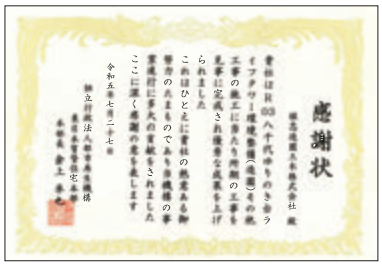
林造園土木㈱

●国土交通省関東技術事務所優良工事表彰



㈱ウキガヤ

●都市再生機構優秀工事施工者表彰



植忠造園土木㈱

●国土交通省首都国道事務所難工事功労表彰

㈱新松戸造園

●国土交通省千葉国道事務所難工事功労表彰

㈱新松戸造園

藤木園緑化土木㈱

●第39回都市公園等コンクール表彰

㈱新松戸造園

造園業の発展への多大な功績等により、表彰された方々を紹介します。（敬称略）

令和５年度　（一社）千葉県造園緑化協会会長表彰（R 5. 5. 24）

●造園建設功労賞

大一造園建設㈱
遠藤　直人

㈱流山緑化土木
高市　高明

㈱田辺造園
田辺　正勝

●勤続精励功労賞

㈱生光園
西潟　安久

㈱宝珠造園土木
町山　亮太

㈱共楽園緑化土木
遠藤　　輝

●技術・技能功労賞

㈱東松園
齋木　弘志

藤木園緑化土木㈱
佐藤　潤一

職業能力開発分野功労者（R 5. 12. 21）

●協会長表彰

㈱千葉緑化サービス
蓬田　浩一

京葉園芸㈱
吉田　　等

●知事感謝状

㈱坂月造園土木
鈴木　康史

●協会長感謝状

大一造園建設㈱
遠藤　直人

令和５年度　（一社）日本造園建設業協会会長表彰（R 5. 6. 23）

●業績表彰

京葉ガーデン㈱
川口　龍司

㈱森田植物園
森田　　亮

川西造園土木㈱
川西　正人

千葉県立我孫子高等技術専門校
令和６年度訓練生募集のお知らせ

令和６年４月より校名が「千葉県立我孫子テクノスクール」に変わります

造園の技能・知識を基礎から学んで、造園の仕事に就いてみませんか！

●普通課程園芸サービス系造園科（追加募集）

訓練科名	訓練課程	訓練期間	定員	募　集　期　間　等
造園科	普通課程	１年間 （４月入校）	20名	・追加募集の期間、選考日について 千葉県立我孫子高等技術専門校にお問い合わせください。

［応募資格］　高校を卒業した方、若しくはこれらと同等以上の学力を有すると認められた方
［授 業 料］　年額118,800円（別途　教科書、作業服等の費用が必要です）
［選考方法］　学科（国語、数学）・適性検査（ペーパー、器具）・面接
［訓練内容］
（１）学科・・庭園概論（歴史・様式）、栽培法、病理・農薬、材料、関係法令、設計および製図（CAD）
（２）実技・・造園実習（垣根・石組み）、栽培実習（薬剤散布・除草）、農業機械使用法（建設機械）
・庭園管理実習（樹木の刈り込み、剪定・整姿）、施肥実習（土および肥料準備）
・根堀りおよび植栽実習（根巻・支柱）

●短期課程造園科募集（６ヵ月）

区　分	４月入校	７月入校	10月入校	１月入校
募集期間	R６. 1. 22～ R６. 2. 13	R６. 4. 19～ R６. 5. 10	R６. 7. 22～ R６. 8. 13	R６. 10.21～ R６. 11.12
選 考 日	R６. 2. 26（月）	R６. 5. 24（金）	R６. 8. 26（月）	R６. 11. 25（月）
合格発表	R６. 3. 4（月）	R６. 5. 31（金）	R６. 9. 2（月）	R６. 12. 2（月）
入 校 日	R６. 4. 5（金）	R６. 7. 1（月）	R６. 10. 1（火）	R７. １. ８（水）
定　員	11名	11名	11名	11名

［応募資格］　転職・再就職を希望される方、学歴は問いません。
［授 業 料］　無料（別途　作業服等の費用が必要です）
［選考方法］　適性検査（ペーパー、器具）・面接
［訓練内容］　訓練期間６ケ月で、造園工事に必要な実技を中心に、竹垣類の製作・樹木管理・石組み・ブロック積み・測量・CAD等を学びます。

◎募集内容等の詳細については、
千葉県立我孫子高等技術専門校に
お問い合わせください。
見学も随時受け付けております。

〒270-1163　我孫子市久寺家684-１
電　話　０４－７１８４－６４１１
ＦＡＸ　０４－７１８５－０２６５
https://www.pref.chiba.lg.jp/kg-abiko/

技能五輪造園職種・全国大会出場（東京）

会　員　名　簿

正会員　　（五十音順）令和５年12月現在　138社

社　名	〒	所　在　地	電　話	ＦＡＸ	ＨＰアドレス	Ｅメール
㈱Ｉ．Ｇ．Ｏ．	270-1367	印西市浦部1028-2	0476(42)3899	0476(42)6275	http://www.linkclub.or.jp/~sanyo/	k2sanyo@zd.wakwak.com
㈱アサヒグリーン	264-0037	千葉市若葉区源町106-2	043(284)4433	043(252)5707	http://www.asahi-green.co.jp	mail@asahi-green.co.jp
㈱青野造園土木	270-1432	白井市冨士61-4	047(443)4847	047(443)4849		aonozouendoboku@able.ocn.ne.jp
㈱青山造園土木	272-0133	市川市行徳駅前4-3-13	047(397)9179	047(397)7800		aoyama@ec4.technowave.ne.jp
㈱赤門	285-0002	佐倉市萩山新田545	043(485)1030	043(485)1170	http://www.kk-akamon.co.jp/	sakura@kk-akamon.co.jp
朝生林業㈱	290-0524	市原市平蔵322	0436(89)2014	0436(89)2800		t.asou@chive.ocn.ne.jp
㈱荒井造園土木	272-0802	市川市柏井町2-742	047(337)6222	047(337)2431		araizouen@h6.dion.ne.jp
㈱飯塚造園	287-0217	成田市桜田296	0476(73)3691	0476(73)6641		iizukakk4128@yahoo.co.jp
㈱飯塚緑化土木	278-0041	野田市蕃昌69	04(7129)2171	04(7129)5001		koujibu@iizuka-ryokukadoboku.com
飯高造園土木㈱	285-0852	佐倉市青菅265	043(487)3232	043(487)3233		info@iidaka-zd.co.jp
㈱飯沼ガーデン建設	270-2254	松戸市河原塚114-3	047(391)6689	047(392)5819		iinumagarden@shore.ocn.ne.jp
㈱石川園	270-2251	松戸市金ケ作251	047(385)7745	047(311)8585	http://ishikawa-en.jp	info@ishikawa-en.jp
㈱井上造園	299-0252	袖ヶ浦市勝507	0438(63)0859	0438(63)0839		02tachibana@inouezouen.co.jp
㈱植草園	263-0051	千葉市稲毛区園生町173-1	043(253)3693	043(255)3462	http://www.uekusaen.co.jp	uekusaen@kind.ocn.ne.jp
㈱植泰造園	272-0834	市川市国分2-16-10	047(372)0358	047(372)0357		suzuki@uetai.co.jp
植忠造園土木㈱	260-0006	千葉市中央区道場北2-18-9	043(224)7611	043(224)7613		info@uechu.co.jp
㈱植義	284-0012	四街道市物井1802-25	043(423)1814	043(424)0899		info@e-ueyoshi.co.jp
㈲植吉造園	276-0015	八千代市米本2428	047(488)1529	047(488)3655		ueyoshizouen@nifty.com
㈱ウキガヤ	270-2232	松戸市和名ヶ谷1253	047(391)5161	047(391)5163		ukigaya_k@ukigaya.co.jp
㈱浦安造園	279-0041	浦安市堀江5-16-22	047(351)4611	047(352)3094		info@urayasuzouen.com
㈱江波戸造園土木	276-0046	八千代市大和田新田917-20	047(450)4014	047(450)2170		ebato@ebato.com
㈱大作園芸	275-0017	習志野市藤崎6-19-15	047(472)0738	047(471)5733	http://www.oosaku.co.jp	info@oosaku.co.jp
㈲岡吉造園	277-0054	柏市南増尾5-18-19	04(7173)0058	04(7173)0054		Yukio.okada@okayoshizouen.co.jp
㈲海保園芸	284-0003	四街道市鹿渡621-4	043(432)5385	043(432)5661		kaiho-engei@topaz.plala.or.jp
㈱加瀬造園	289-2505	旭市鎌数1426	0479(63)6750	0479(62)1363		kase-zouen@k9.dion.ne.jp
勝田造園㈱	285-0845	佐倉市西志津2-22-19	043(487)1430	043(487)1022		katuta-zouen@catv296.ne.jp
㈱加藤園緑化建設	277-0872	柏市十余ニ287-18	04(7132)2281	04(7133)7479	http://www.kashiwa-cci.or.jp/home/10131/index.htm	ka-katouen@mti.biglobe.ne.jp
㈱加藤緑花土木	267-0065	千葉市緑区大椎町1251-321	043(294)4655	043(294)4658		kato4655@sirius.ocn.ne.jp
鎌ヶ谷造園土木㈱	273-0118	鎌ヶ谷市中沢379	047(445)3136	047(445)2200	http://www.kamagaya.com/zouen	zouen@kamagaya.com
神鳥造園㈱	262-0012	千葉市花見川区千種町357-14	043(259)0843	043(258)8728		info@kamitori.co.jp
川西造園土木㈱	299-0118	市原市椎津1299-2	0436(61)0310	0436(61)0321		kawanisi@tk9.so-net.ne.jp
㈱川村造園企画	270-1176	我孫子市柴崎台3-9-15	04(7184)5311	04(7183)3315		kawamurazouen@eos.ocn.ne.jp
㈲共栄緑化	273-0015	船橋市日の出2-2-16	047(431)5368	047(433)9835		kyoeiryokka@nifty.com
㈱共楽園緑化土木	283-0041	東金市広瀬83	0475(58)5355	0475(58)5357	http://kyourakuen-chiba.com	kyouraku@aioros.ocn.ne.jp
㈲協和緑地	277-0812	柏市花野井1035-9	04(7133)6772	04(7131)7167		kyowa-0518@peach.ocn.ne.jp
グリーンテック㈱	277-0861	柏市高田806	04(7148)4187	04(7148)4171	http://www.green-tech.co.jp	info@green-tech.co.jp
京成バラ園芸㈱	276-0046	八千代市大和田新田755	047(459)0331	047(459)4779	http://www.keiseirose.co.jp/	tender@keiseirose.co.jp
㈱京葉園	263-0002	千葉市稲毛区山王町267	043(422)2320	043(422)8875	http://www.keiyoen.com	green@keiyoen.com
京葉園芸㈱	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-8-17	043(254)3231	043(287)9803		info@keiyo-engei.co.jp
京葉ガーデン㈱	279-0041	浦安市堀江2-18-10	047(354)8854	047(354)8874		mail@keiyo-garden.co.jp
京葉緑化工事㈱	290-0045	市原市喜多948-100	0436(74)0037	0436(37)2991	http://www.keiyoryokka.co.jp	flower@keiyouryokuka.co.jp
香樹園緑化建設㈱	283-0048	東金市幸田294	0475(52)1626	0475(52)1564		koujyuen@siren.ocn.ne.jp

社　名	〒	所　在　地	電　話	ＦＡＸ	ＨＰアドレス	Ｅメール
㈱光風ガーデン	270-1137	我孫子市岡発戸599-2	04(7182)9876	04(7182)2328		kofu-gdn@violin.ocn.ne.jp
光陽㈱	285-0858	佐倉市ユーカリが丘4-1 スカイプラザ・モール3F	043(462)9751	043(462)9704		soumubu@koyo-yukari.co.jp
㈲小林大正園	292-0036	木更津市菅生134	0438(98)0903	0438(97)0220	http://www.taishouen.co.jp/	info@taishouen.co.jp
㈱齊藤造園土木	273-0121	鎌ヶ谷市初富172-7	047(444)3510	047(444)2479		info@saito-z.com
㈱斉藤緑地建設	270-2232	松戸市和名ヶ谷1429	047(391)3045	047(392)0815		saito137@dc5.so-net.ne.jp
㈱坂月造園土木	264-0002	千葉市若葉区千城台東1-4-6	043(237)1263	043(237)1289		info@sakaduki.co.jp
㈱佐久間園緑化	289-2132	匝瑳市高1740	0479(72)1888	0479(72)2002		sakumaen@cf7.so-net.ne.jp
㈱三協グリーン	260-0001	千葉市中央区都町2-13-1 パークアベニュー102	043(233)0707	043(233)0708		LEK06764@nifty.ne.jp
㈱三協緑化	266-0033	千葉市緑区おゆみ野南2-16-6	043(228)2410	043(228)3588		info@123kyo.co.jp
山晃興業㈱	270-1332	印西市別所599	0476(42)3270	0476(42)8131	http://www.sankou-ib.co.jp	info@sankou-ib.co.jp
㈱三樹園緑化	265-0077	千葉市若葉区御成台3-1168-13	043(236)3952	043(236)3622	http://www.sanjuenryokuka.com/	info@sanjuenryokuka.com
㈱サンライズグリーン	272-0115	市川市富浜3-11-6	047(395)6955	047(395)3336	https://sunrisegreen.jp/	info@sunrisegreen.jp
㈱志津ガーデン	285-0854	佐倉市上座1178-27	043(489)5824	043(489)4825		shizu-g@catv296.ne.jp
㈲宍倉造園土木	264-0032	千葉市若葉区みつわ台3-16-4-101	043(252)2068	043(252)2082		sisikura@crux.ocn.ne.jp
㈱篠塚造園土木	270-0135	流山市野々下1丁目399	04(7158)3854	04(7158)3744		sinoduka@oregano.ocn.ne.jp
㈱島村造園緑化	270-2203	松戸市六高台5-56	047(387)6791	047(387)9494		shimamura-zouen@nifty.com
㈱松月園	270-1327	印西市大森333-2	0476(42)3318	0476(42)8475		shougetu@remus.dti.ne.jp
㈲東海林造園	284-0001	四街道市大日1182-3	043(422)3013	043(423)0846		shoji-zoen@m9.dion.ne.jp
㈲白冨士園	270-1432	白井市冨士21	047(444)1201	047(445)0045		iwasaki-ij@mti.biglobe.ne.jp
進光園緑化㈱	270-1431	白井市根713-8	047(491)0450	047(491)4906		ryokuka@sinkoen.com
新都市緑化㈱	270-0021	松戸市小金原9-15-10	047(341)3811	047(343)8343	http://www.d2.dion.ne.jp/~unaoshi	unaoshi@d2.dion.ne.jp
新日本植産㈱	290-0032	市原市廿五里1071-5	0436(21)3869	0436(22)5633	http://www.ichihara.or.jp/shinnihon_syokusan/	info@snsy.co.jp
㈱新松戸造園	270-2224	松戸市大橋809	047(391)2828	047(392)0213	https://shinmatsudo-zouen.com	info@shinmatsudo-zouen.com
㈱仁風	267-0052	千葉市緑区下大和田町68	043(497)4706	043(497)4716		jinpuu@fancy.ocn.ne.jp
㈱砂川園芸	277-0805	柏市大青田1270-1	04(7131)2587	04(7132)2850		sunakawa@xpost.plala.or.jp
㈱生光園	299-0245	袖ヶ浦市蔵波台6-5-10	0438(62)4075	0438(62)4520	http://www.seikouen-garden.com	info@seikouen-garden.co.jp
総武造園土木㈱	264-0020	千葉市若葉区貝塚2-4-28	043(231)5752	043(231)5362		soubu@viola.ocn.ne.jp
造園土木伊藤園㈱	286-0221	富里市七栄654-55	0476(93)0683	0476(92)5283		zo-itouen@nifty.com
袖ヶ浦興産㈱	299-0243	袖ヶ浦市蔵波26-2	0438(62)1111	0438(63)0333		so-5303@eos.ocn.ne.jp
㈱染谷園芸	277-0802	柏市船戸1011	04(7131)5987	04(7133)9149		someya_engei@kir.biglobe.ne.jp
大一造園建設㈱	270-1104	我孫子市新々田212-2	04(7189)2875	04(7189)4393		daiichi-zk@jasmine.ocn.ne.jp
㈱高橋造園	267-0066	千葉市緑区あすみが丘5-7-6	043(205)5544	043(205)5545		VZY04211@nifty.ne.jp
高山総業㈱	290-0005	市原市山木1183	0436(41)2378	0436(41)1674	http://www.takayama-s.jp	staff@takayama-s.jp
髙山造園土木㈱	290-0011	市原市能満322-1	0436(42)3700	0436(42)3702	http://www.zouen.biz	takayama@zouen.biz
拓殖造園土木㈱	264-0007	千葉市若葉区小倉町132-8	043(236)1128	043(236)1967		takushoku@nifty.com
㈱田久保造園土木	270-1348	印西市戸神807-2	0476(46)0647	0476(46)3009		info@takubo-zouen.co.jp
田中園緑化土木㈱	277-0871	柏市若柴1-12	04(7131)4148	04(7131)4149		tanakaen@jcom.homu.ne.jp
㈱田辺造園	285-0011	佐倉市山崎422-1	043(486)7945	043(486)7946		tanabe-zouen@brown.plala.or.jp
㈲千浜造園	270-1121	我孫子市中峠1279	04(7188)1061	04(7188)1261		land-sc-chihama@jcom.home.ne.jp
千葉グリーンサービス㈱	260-0041	千葉市中央区東千葉1-9-1	043(253)2115	043(253)2239	http://www.chiba-green.co.jp	office@chiba-green.co.jp
千葉グリーンセールス㈱	266-0011	千葉市緑区鎌取町71-6	043(291)2101	043(291)2124	http://www.chibagreensales.co.jp	cg@chibagreensales.co.jp
㈱千葉花壇	263-0043	千葉市稲毛区小仲台8-17-1	043(253)7224	043(287)7807	http://www.chibakadan.co.jp	e-garden@chibakadan.co.jp
千葉砂防植産㈱	260-0801	千葉市中央区仁戸名町357-30	043(261)3393	043(265)8719		chiba@sabou.co.jp
千葉造園土木㈱	263-0041	千葉市稲毛区黒砂台2-12-7	043(243)7721	043(243)7753	http://www.chibazouen.co.jp	landscape@chibazouen.co.jp

社　　名	〒	所　在　地	電　話	ＦＡＸ	ＨＰアドレス	Ｅメール
㈱千葉緑化サービス	264-0021	千葉市若葉区若松町496-2	043(421)4105	043(421)4106		c-ryokka@pluto.plala.or.jp
千代田緑化工事㈱	274-0068	船橋市大穴北2-23-17	047(457)3470	047(457)0117		chiyoda-g@ia5.itkeeper.ne.jp
築山緑化建設㈱	273-0012	船橋市浜町3-2-1	047(435)0540	047(437)0709	http://www.tkym-ryokka.co.jp	info@tkym-ryokka.co.jp
東丘施設管理㈱	267-0066	千葉市緑区あすみが丘4-39 ガーデンコート壮の街5番館608	043(294)0617	043(308)7213		e.hill@m3.dion.ne.jp
㈱東松園	270-2261	松戸市常盤平4-20	047(387)6211	047(384)1820		info@toshouen.co.jp
㈱東城園	260-0042	千葉市中央区椿森6-8-17	043(254)2128	043(254)2126		tojyoenchiba@rapid.ocn.ne.jp
㈱常盤ガーデン	277-0825	柏市布施914	04(7131)6126	04(7132)4414		soumu@tokiwagarden.co.jp
㈱徳受園	264-0032	千葉市若葉区みつわ台5-21-16	043(207)2855	043(255)9278		tokujuen@tkcnet.ne.jp
㈱トム造園	270-1177	我孫子市柴崎15-10	04(7183)1600	04(7184)6700		tomzouen@apricot.ocn.ne.jp
豊四季造園土木㈱	277-0812	柏市花野井1521	04(7132)1235	04(7132)1245		toyoshikizouen@jcom.home.ne.jp
中村造園土木㈱	299-0123	市原市深城624	0436(66)7801	0436(66)1070		d.asida@n-zouen.jp
㈲長野造園土木	285-0813	佐倉市石川630-36	043(486)2605	043(486)1410		nagano-zd@catv296.ne.jp
㈱流山緑化土木	270-0132	流山市駒木134	04(7152)4310	04(7152)4312		nagareyama-ryokka@helen.ocn.ne.jp
㈱成田園芸	286-0117	成田市三里塚1-390	0476(35)1665	0476(35)1482		cne-naritaengei@air.ocn.ne.jp
㈱成田造園土木	287-0244	成田市川上245-831	0476(36)4785	0476(36)4786		kk-naritazouendoboku@triton.ocn.ne.jp
㈲西原造園	270-2203	松戸市六高台5-90	047(387)0754	047(384)8939		masahiro@nishihara-zohen.co.jp
㈱西船グリーンサービス	273-0045	船橋市山手3-14-16	047(433)0683	047(433)1755		n-green@mvg.biglobe.ne.jp
橋本屋造園㈱	290-0021	市原市山田橋434-21	0436(43)3211	0436(43)3213		info@hashimotoya-zouen.co.jp
林園緑地建設㈱	275-0013	習志野市花咲1-10-3	047(472)0818	047(476)6607		hayashien@tea.ocn.ne.jp
林造園土木㈱	260-0001	千葉市中央区都町3-29-1	043(233)9411	043(233)9412		aec01214@nifty.ne.jp
フタバ緑化産業㈱	263-0023	千葉市稲毛区緑町2-1-10	043(243)0451	043(244)5739		info@futabaryokuka.co.jp
㈲藤井造園土木	275-0017	習志野市藤崎6-4-26	047(473)2953	047(472)3781	http://www.fujiizoen.co.jp/	info@fujiizoen.co.jp
藤木園緑化土木㈱	275-0024	習志野市茜浜1-6-4	047(453)1031	047(454)1375	http://www.fujikien.server-shared.com/	fujikien@triton.ocn.ne.jp
㈱宝珠造園土木	279-0003	浦安市海楽2-11-15	047(380)2510	047(380)1422		yshb22061968@luck.ocn.ne.jp
㈱芳松園	277-0872	柏市十余二380-100	04(7144)1641	04(7133)3274		houshouen@marusyo-kenzai.co.jp
㈱報徳緑化土木	285-0863	佐倉市臼井146-1	043(489)7100	043(489)7080		houtoku@h8.dion.ne.jp
房総グリーンセールス㈱	290-0062	市原市八幡171	0436(41)1860	0436(41)1861		kamura@boso-green.co.jp
㈱北総園芸	286-0221	富里市七栄525-31	0476(93)3456	0476(93)6812		hokuso@mwd.biglobe.ne.jp
北総緑化開発㈱	285-0812	佐倉市六崎291-3	043(486)0016	043(486)0097		hokusou@bz03.plala.or.jp
㈱マスヤ	299-1603	富津市更和79	0439(67)0055	0439(67)1947		kmasuya@apricot.ocn.ne.jp
増栄産業㈱	299-0242	袖ヶ浦市久保田2171	0438(62)7118	0438(62)5522		masueisangyo@jcom.home.ne.jp
㈱三上造園	277-0074	柏市今谷上町47	04(7174)5311	04(7176)0511		mikami.lc@jcom.home.ne.jp
㈱ミヤノ	270-1327	印西市大森513-1	0476(42)8421	0476(42)8159		qq3t4zu9@air.ocn.ne.jp
緑造園土木㈱	265-0053	千葉市若葉区野呂町1793-317	043(228)3681	043(228)4926		t-yasojima@midorizouendoboku.co.jp
三木造園土木㈱	299-1161	君津市北子安1-14-12	0439(52)0559	0439(54)5059	http://www.mitsugi-zd.co.jp	mitsugi@poem.ocn.ne.jp
㈱ムサシ	299-0233	袖ヶ浦市岩井634	0438(75)3862	0438(75)3180		swrn@634musashi.co.jp
茂手木造園㈱	264-0012	千葉市若葉区坂月町29-1	043(233)1955	043(233)1906	http://www.motegi-zouen.co.jp/	info@motegi-zouen.co.jp
㈱森田植物園	273-0044	船橋市行田1-26-33	047(439)3822	047(439)3824		m.k@eos.ocn.ne.jp
㈱八千代グリーンテック	276-0046	八千代市大和田新田446-241	047(459)9211	047(459)9201		info@y-greentec.co.jp
㈲八千代緑化	276-0031	八千代市八千代台北17-15-10	047(485)7823	047(485)7830		info@yachiyoryokuka.co.jp
谷中造園土木㈱	292-0812	木更津市矢那2381	0438(52)2552	0438(52)2858		info@yanakazouen.co.jp
山崎緑化建設㈱	286-0006	成田市北須賀260	0476(26)9312	0476(26)1725		yama260@aurora.ocn.ne.jp
㈱山田緑地建設	292-0024	木更津市大寺1060	0438(98)0234	0438(98)0253	http://www6.ocn.ne.jp/~yamada77/	yamadaryokuti@isis.ocn.ne.jp
㈲山本造園	285-0836	佐倉市生谷1569-5	043(487)8435	043(487)8439		yamamoto-zouen@catv296.ne.jp

社　名	〒	所　在　地	電　話	ＦＡＸ	ＨＰアドレス	Ｅメール
㈱ユアサ園芸	272-0811	市川市北方町4-2088	047(339)2444	047(338)4311	http://www.yuasa-k.2-d.jp/	yuasaengei@if-n.ne.jp
㈱横川造園土木	278-0041	野田市蕃昌24-1	04(7129)1166	04(7129)1169		yokokawa@siren.ocn.ne.jp
㈱横芝緑化	264-0017	千葉市若葉区加曽利町720-4	043(232)5080	043(232)6323	http://www.yokoshibaryokuka.co.jp	info@yokoshibaryokuka.co.jp
㈲ランディックスガーデン	270-1431	白井市根633-1	047(492)3390	047(492)3335		landx@ams.odn.ne.jp
㈱緑建	277-0033	柏市増尾4-21-1	04(7172)6487	04(7174)2988		ryokuken@orion.ocn.ne.jp
㈲緑鈴造園	283-0016	東金市菱沼238-1	0475(58)7610	0475(58)2610		ryokurin@poplar.ocn.ne.jp
㈾林農社	285-0863	佐倉市王子台1-15-11	043(461)0636	043(461)1652		rinnousya@rinnousya.co.jp
㈱渡辺造園	289-2315	香取郡多古町御所台173	0479(76)7330	0479(76)2661	http://www.watanabezouen.co.jp	info@watanabezouen.co.jp

賛助会員　2社

社　名	〒	所　在　地	電　話	ＦＡＸ	ＨＰアドレス	Ｅメール
㈱イズミ	270-0128	流山市おおたかの森3-3-3	04(7159)0462	04(7159)3294	http://www.izumi-garden.jp	izumi.kura@ag.wakwak.com
船橋港業㈱	273-0018	船橋市栄町2-4-25	047(435)1651	047(435)1652		funabashikougyou@mist.ocn.ne.jp

ゼロ災害で いつも健康 あかるい職場

千葉労働局長登録教習機関

（技能講習・特別教育・安全衛生教育・能力向上教育）

◇木材加工用機械作業主任者技能講習
◇チェーンソーを用いる伐木等特別教育
◇刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育

※下記へお問い合せください。

林業・木材製造業労働災害防止協会 千葉県支部

（略称：林災防千葉県支部）〒283-0823 東金市山田 800番地

TEL 0475-53-0123　FAX 0475-53-2000

千葉県の巨樹・古木紹介シリーズ ㉗

天戸のスダジイ

所在地：千葉県千葉市花見川区天戸町
樹　種：スダジイ（常緑高木）
　　ブナ科　シイ属
樹　高：15m
葉張り：17m
幹周り：5.8m
樹　齢：推定 270年
　　（供養塔建立からの推定）

御成街道沿いに巡礼者のための六十六部供養塔（天明７年･1787年）がある。当時の人々の心を伝える貴重な文化遺産で、スダジイはこの真っ直ぐな街道の遠くからでもすぐに目につく大木で、碑を守るように枝葉を広げている。幹の内部は腐朽して痛々しいが､樹形･樹勢ともに良好で、樹齢を感じさせないたくましい生命力を感じる。

習志野、船橋にもこの御成街道沿いに植えられたスダジイの古木があり一里塚の役目を果たしていたと思われる。

（樹木医　中村　元英）

一般社団法人　千葉県造園緑化協会
〒260-0024　千葉県千葉市中央区中央港1-13-1 千葉県建設業センター 304号室
TEL 043-246-3040　FAX 043-246-3041
URL http://www.zouen.or.jp
E-mail info@zouen.or.jp

花と緑の祭典

令和6年 秋 10月~ ／ 令和7年 春 3月~ 開催

全国都市緑化かわさきフェア

Green For All
KAWASAKI
2024

みどりで、つなげる。
みんなが、つながる。

会場 | 富士見公園 | 等々力緑地 | 生田緑地

秋 令和6年 10月19日(土)～11月17日(日)　春 令和7年 3月22日(土)～4月13日(日)

主催 | 川崎市・公益財団法人都市緑化機構　実施主体 | 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th
川崎の未来づくりを、さあいっしょに。

Green For All
KAWASAKI
2024